

阿久根2火碎流堆積物中の高角度断層。

断層面は明瞭かつ平面的であるものの、癒着しており、軟質粘土は認められない。また、断層近傍の阿久根2火碎流堆積物には、節理が多く認められるものの、固結している。

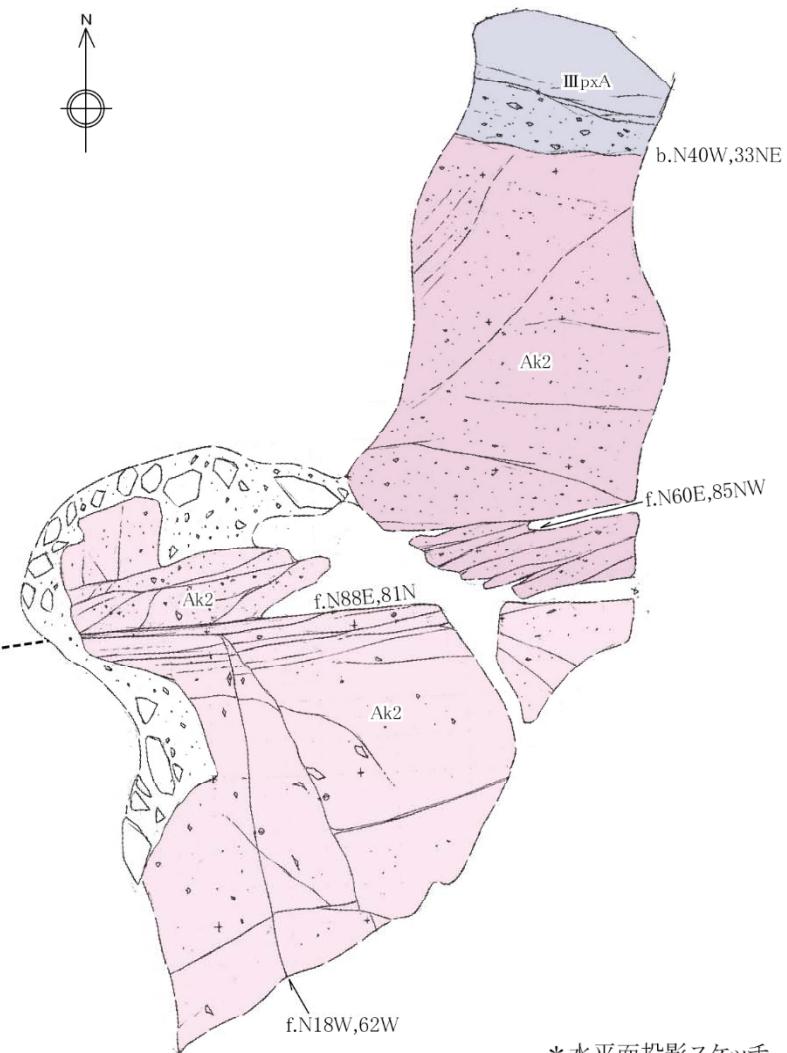
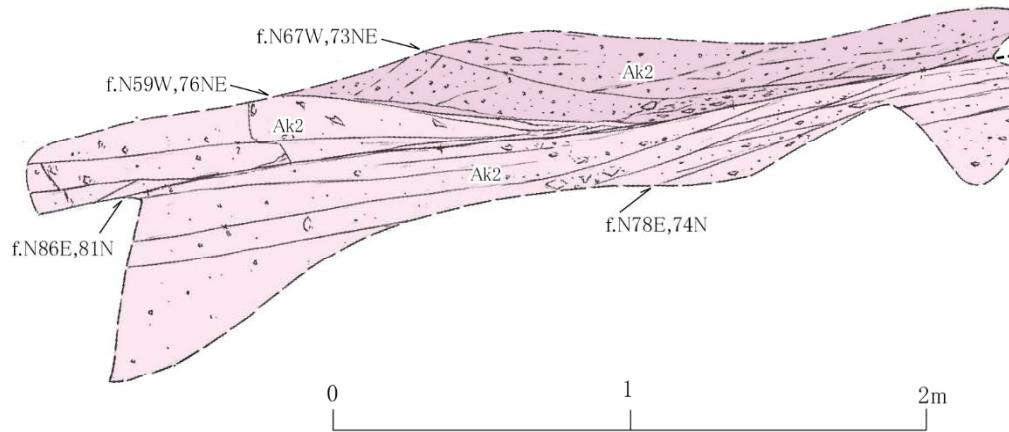


凡例

	現河床礫層
	輝石安山岩溶岩A } 北薩火山岩類III
	赤色結晶質凝灰岩
	白色軽石混じり凝灰岩 } 阿久根2火碎流堆積物

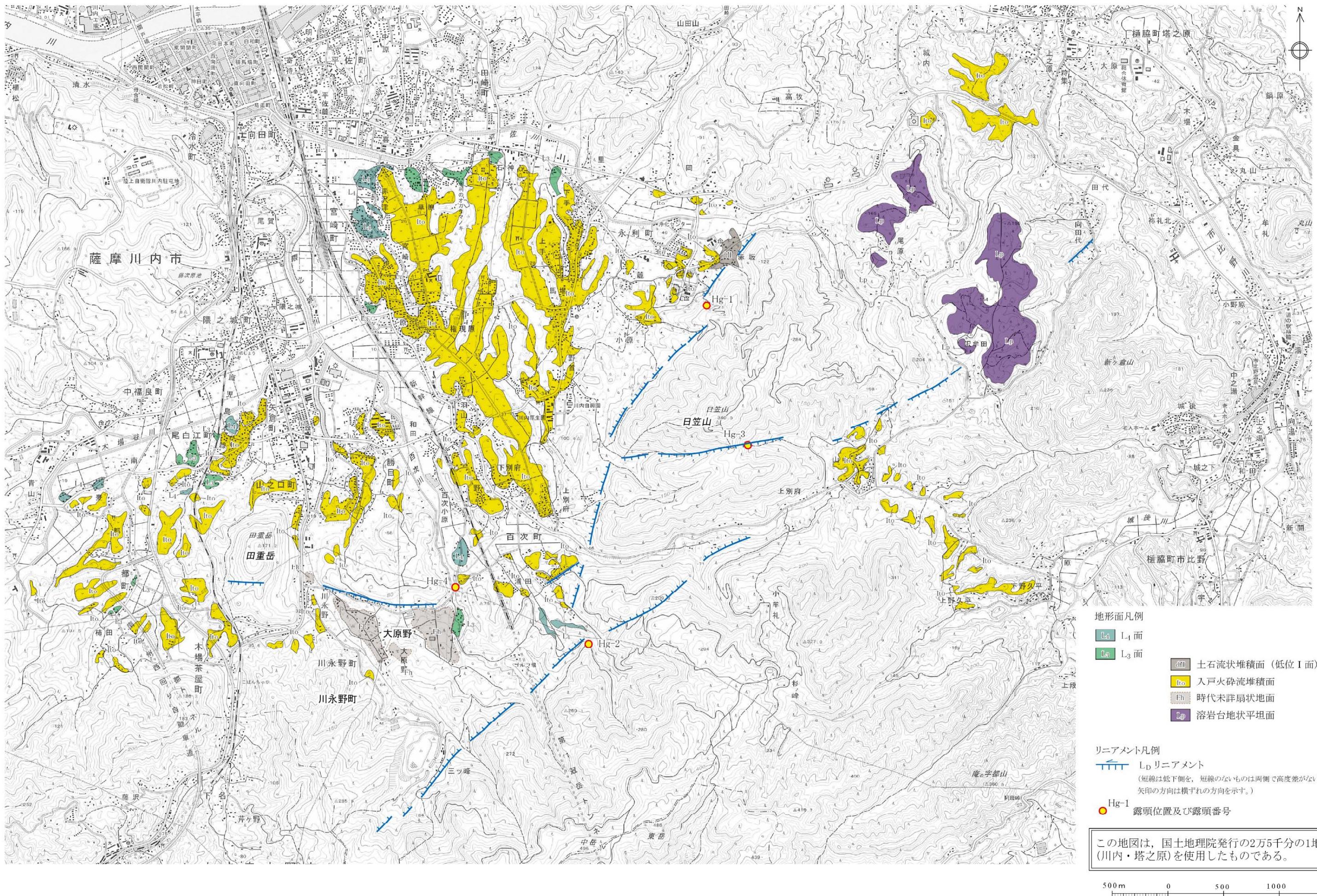
f.N87E,73N 断層面の走向・傾斜

b.N40W,33NE 層理面の走向・傾斜

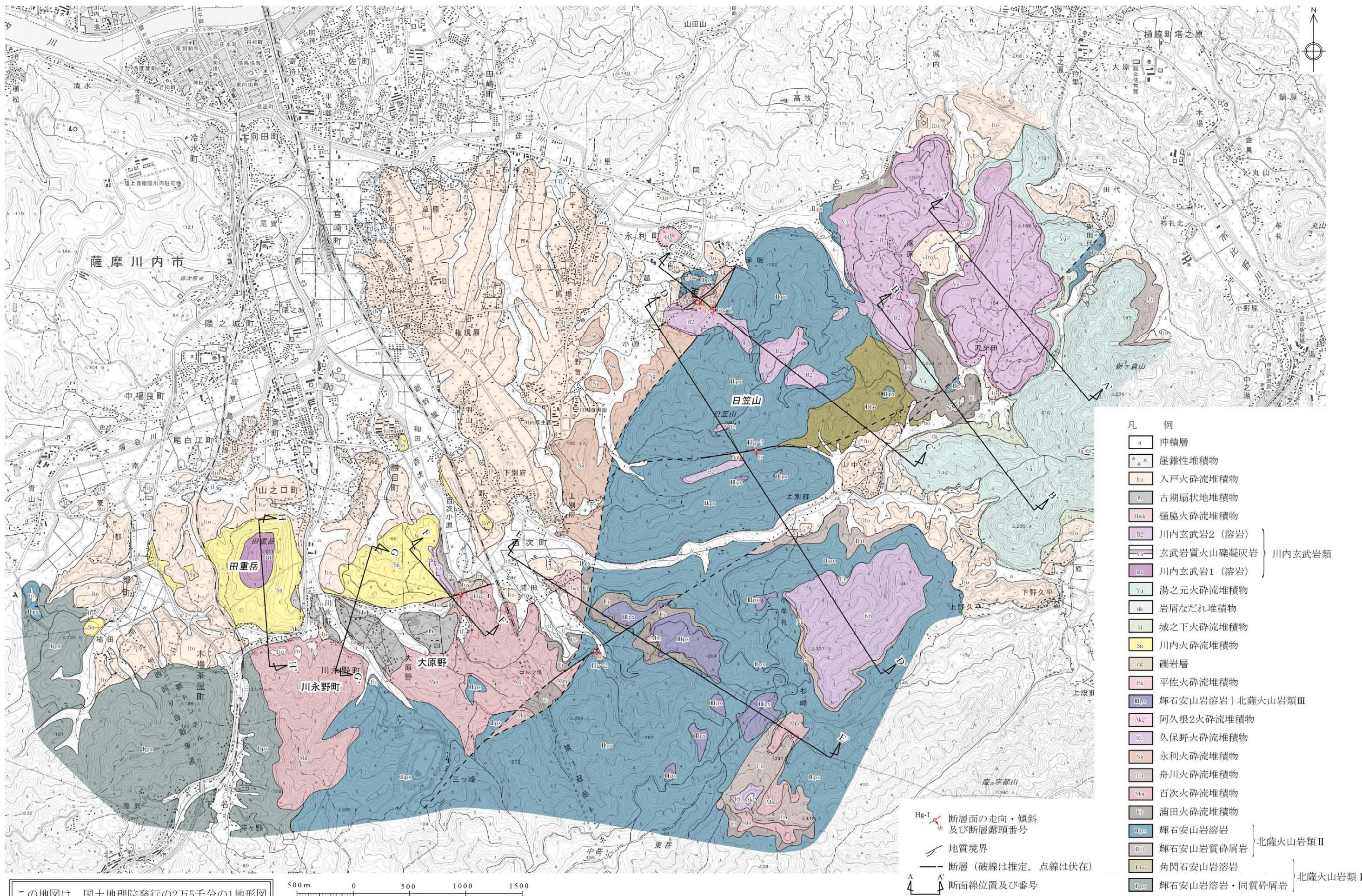


*水平面投影スケッチ

第1.2-131図 露頭スケッチ (Loc.Bz-1, いちき串木野市太郎坊北方)

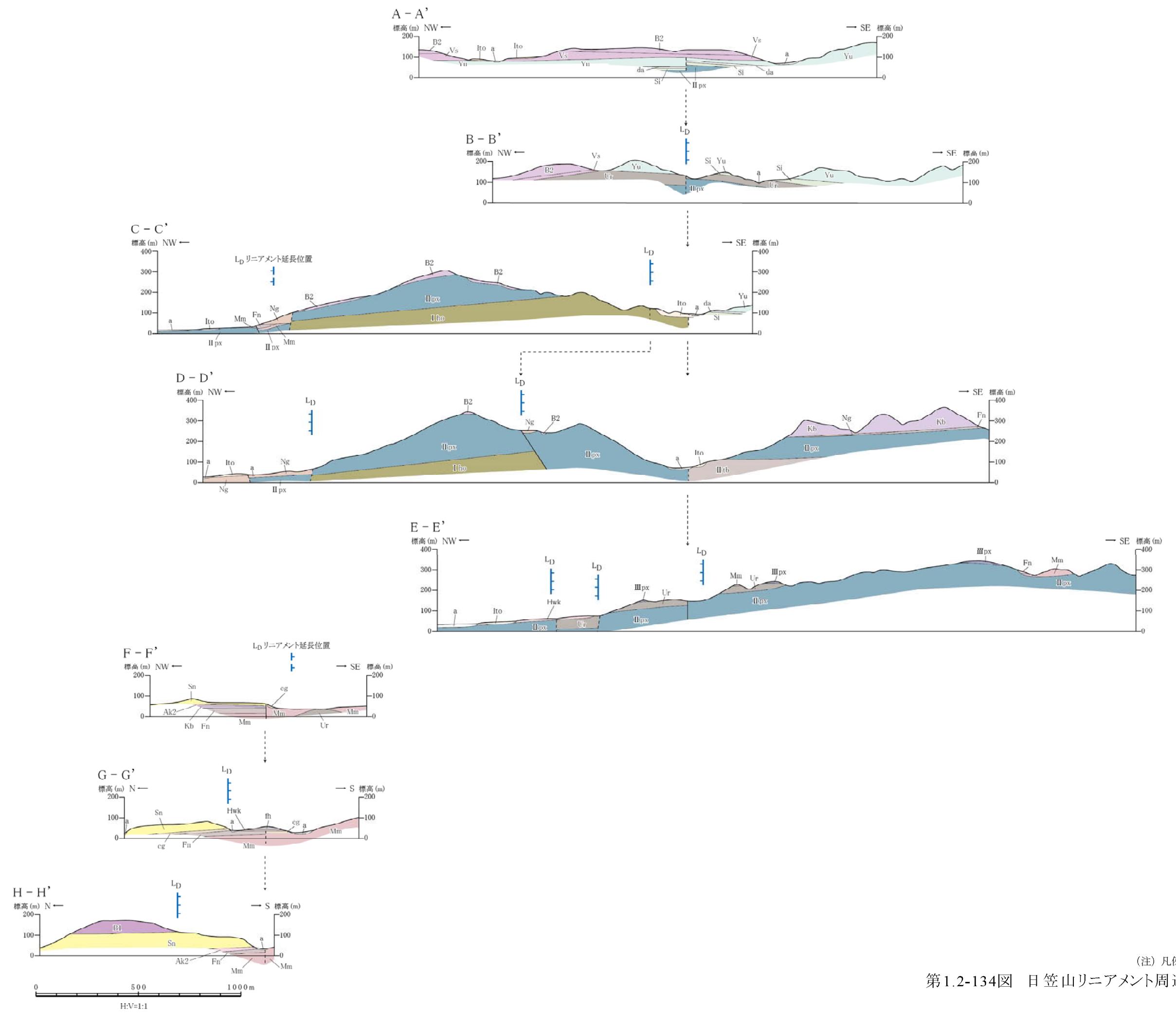


第1.2-132図 日笠山リニアメント周辺の空中写真判読図

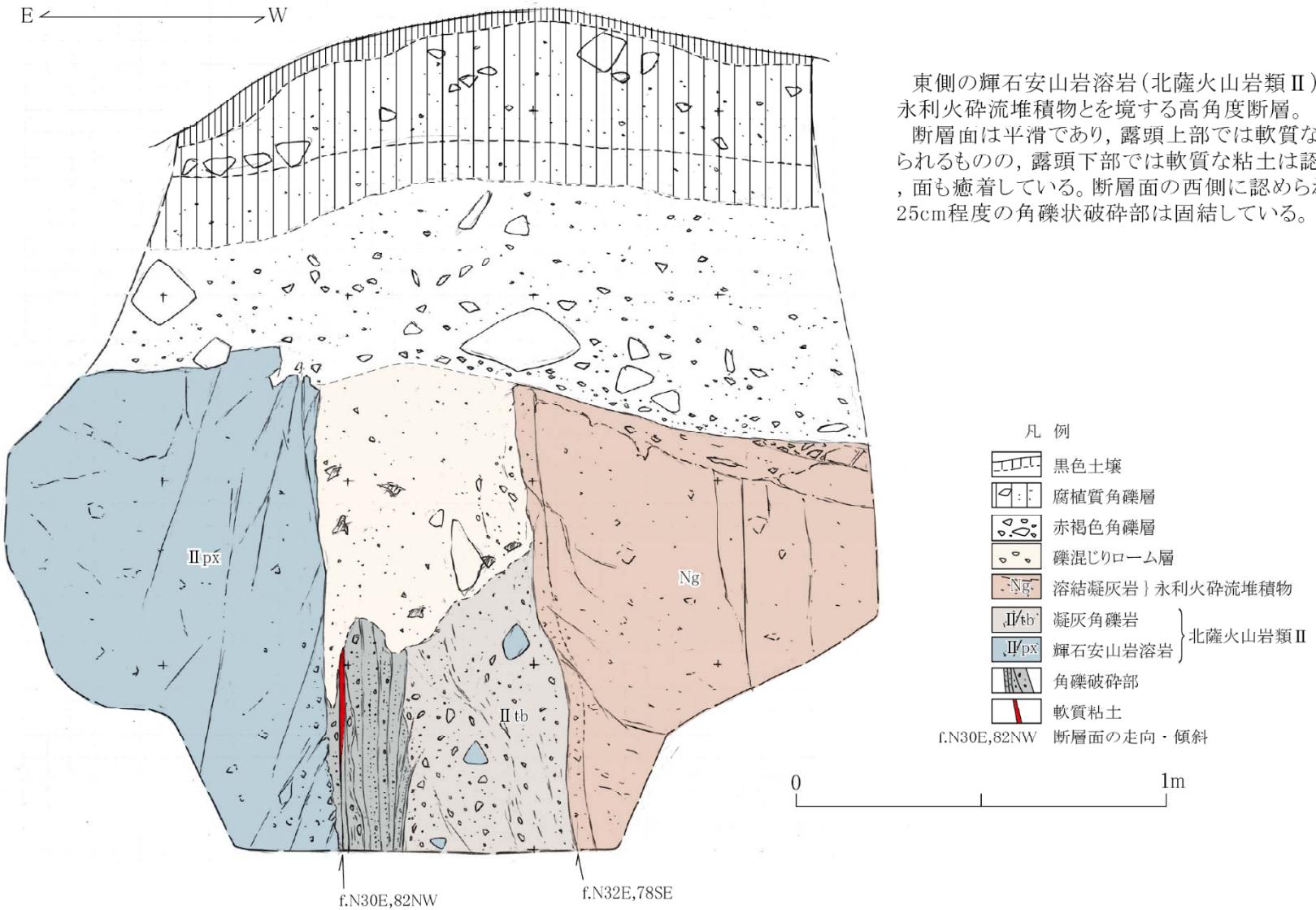


この地図は、国土地理院発行の2万5千分の1地形図
(川内・塔之原)を使用したものである。

第1.2-133図 日笠山リニアメント周辺の地質図



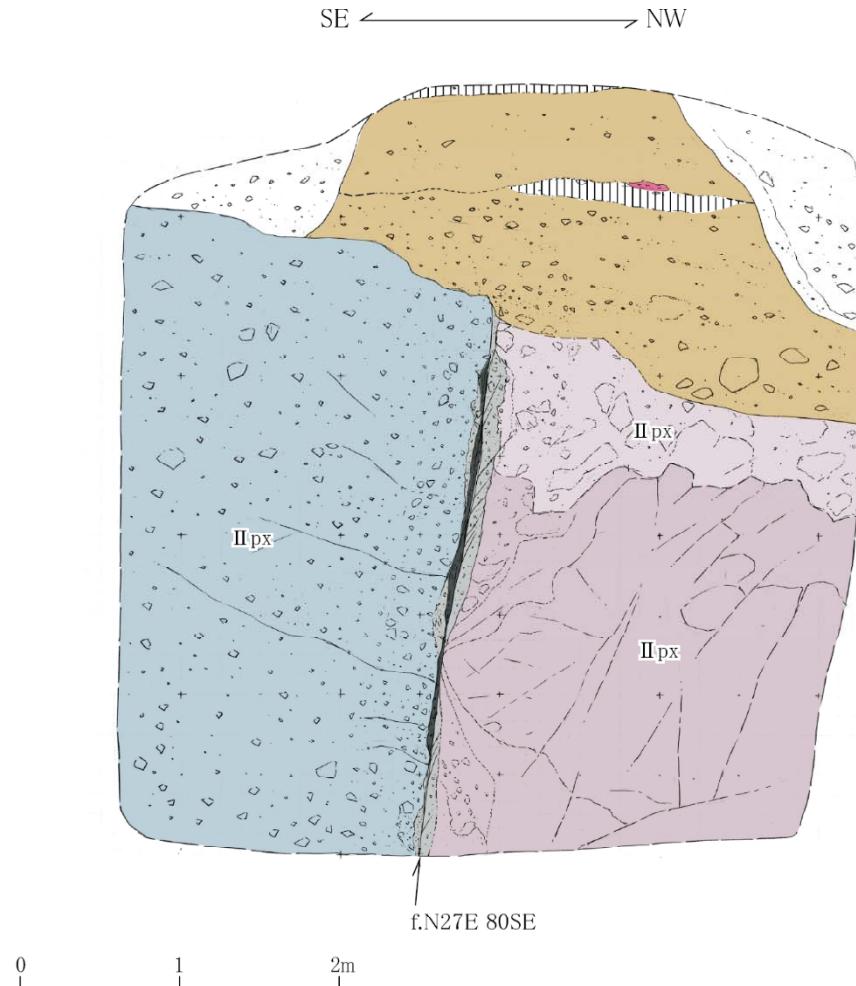
第1.2-134図 日笠山リニアメント周辺の地質断面図



第1.2-135図(1) 露頭スケッチ(Loc.Hg-1, 薩摩川内市永利町)

東側の輝石安山岩溶岩(北薩火山岩類II)と西側の永利火碎流堆積物とを境する高角度断層。

断層面は平滑であり、露頭上部では軟質な粘土がみられるものの、露頭下部では軟質な粘土は認められず、面も癒着している。断層面の西側に認められる幅25cm程度の角礫状破碎部は固結している。



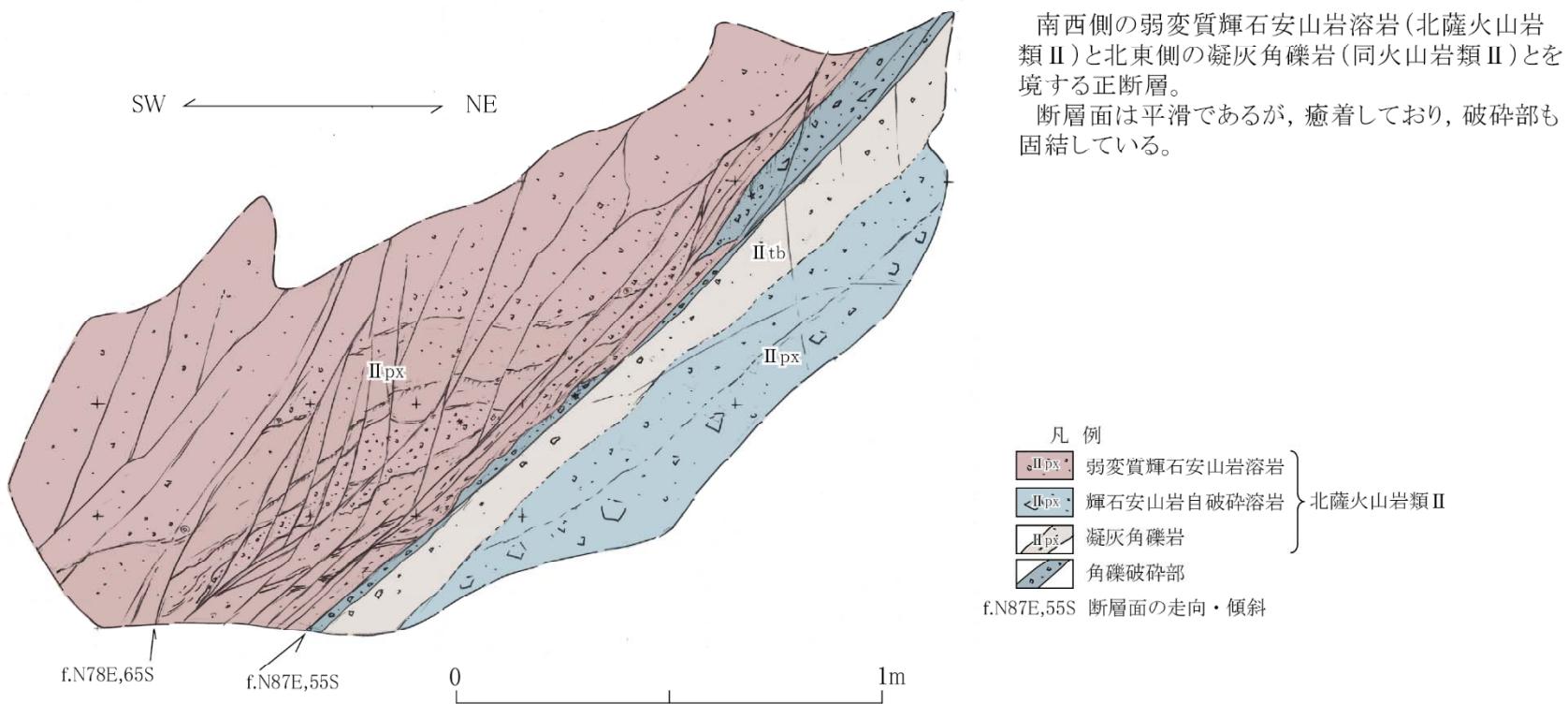
南東側の輝石安山岩自破碎溶岩(北薩火山岩類II)と北西側の輝石安山岩溶岩(同火山岩類II)とを境する高角度断層。

断層面は平滑であるが、断層面は癒着しており、破碎部も固結している。

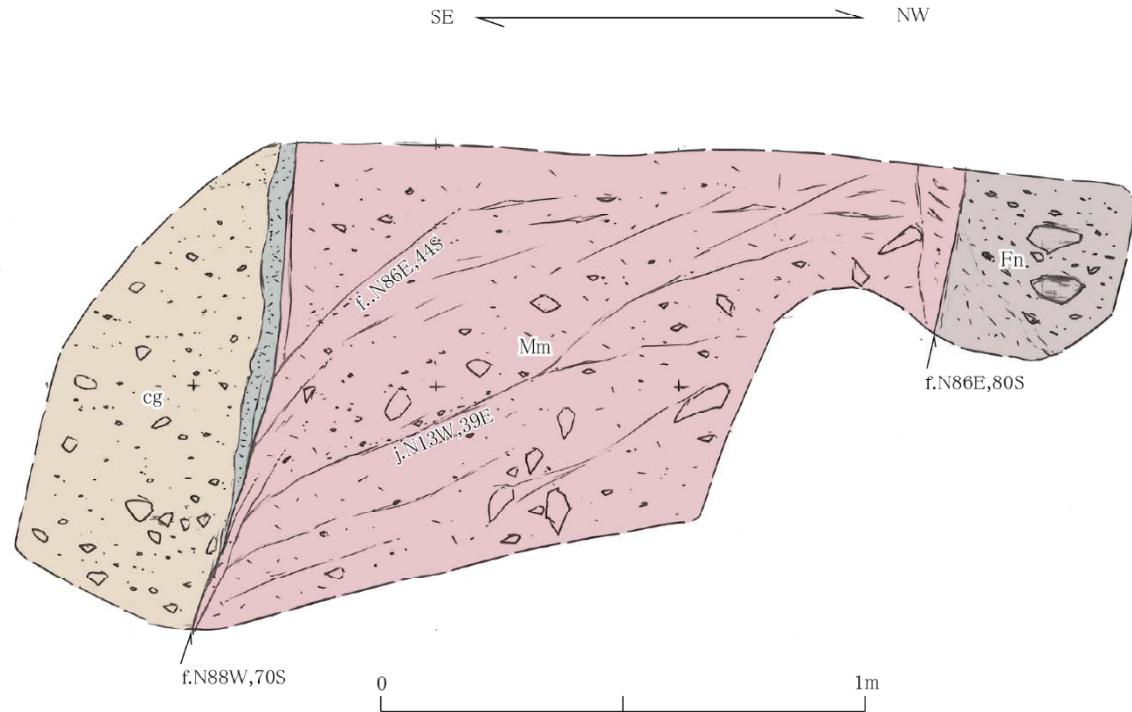
凡例

	黒色土壤
	崖錐堆積物
	黄褐色細礫層
	鬼界アカホヤテフラ層
	暗灰色土壤
	ローム質角礫層
	輝石安山岩風化部
	輝石安山岩溶岩
	輝石安山岩自破碎溶岩
	角礫破碎部
	含角礫細粒破碎部
	f.N27E 80SE 断層面の走向・傾斜

第1.2-135図(2) 露頭スケッチ(Loc.Hg-2, 薩摩川内市浦田)



第1.2-135図(3) 露頭スケッチ(Loc.Hg-3, 薩摩川内市日笠山南方)



露頭南側に南東側の礫岩層と北西側の百次火碎流堆積物とを境する正断層が、露頭北側に南東側の百次火碎流堆積物と北西側の舟川火碎流堆積物とを境する高角度断層が認められる。

いずれの断層面も湾曲し、癒着しており、破碎部も固結している。

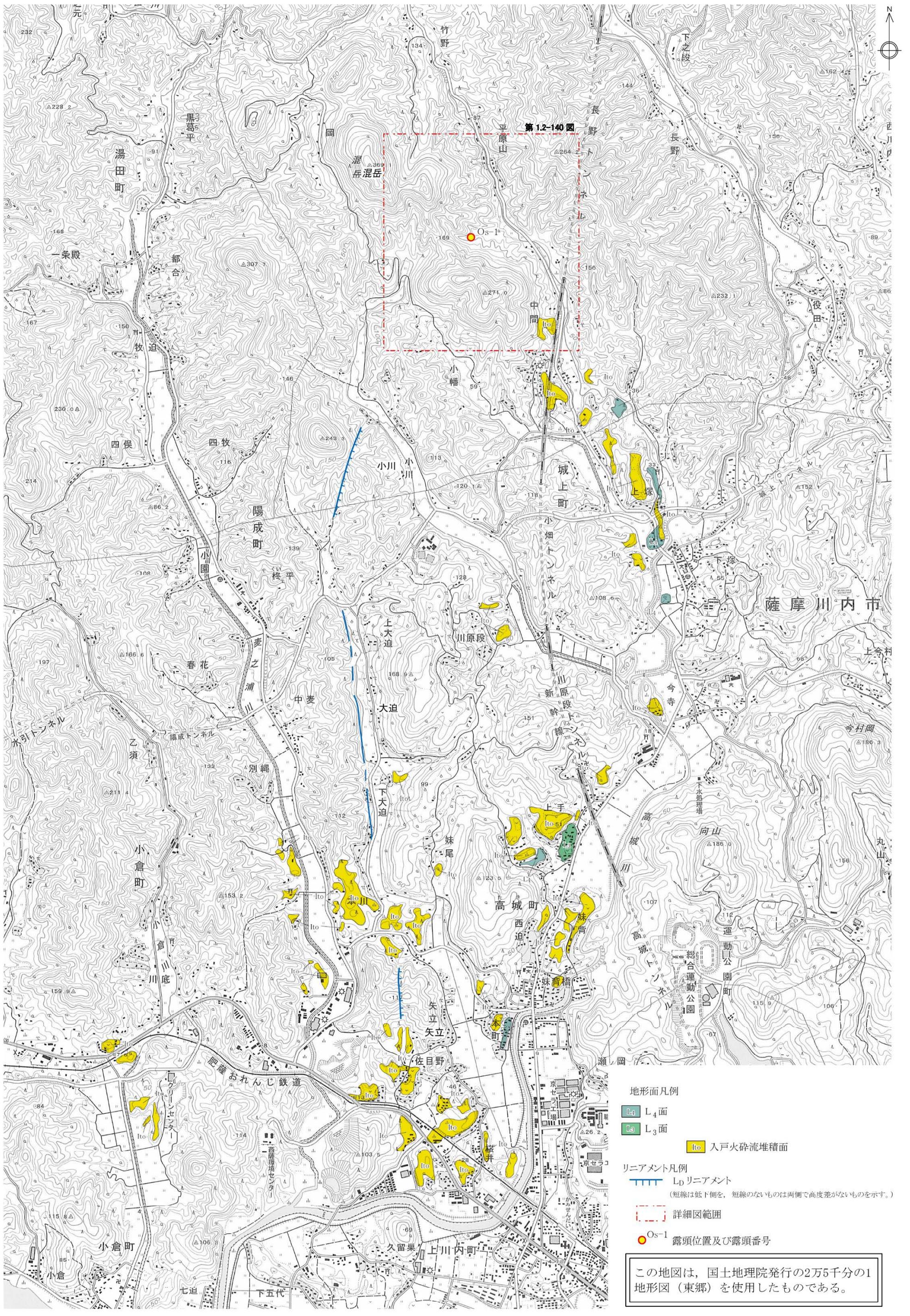
凡例

- [Rock icon] 磯岩 層 (Lithology)
- [Volcanic rock icon] スコリア流堆積物 層 (Lithology)
- [Igneous rock icon] 溶結凝灰岩 層 (Lithology)
- [Crack icon] 細粒破碎部 (Feature)

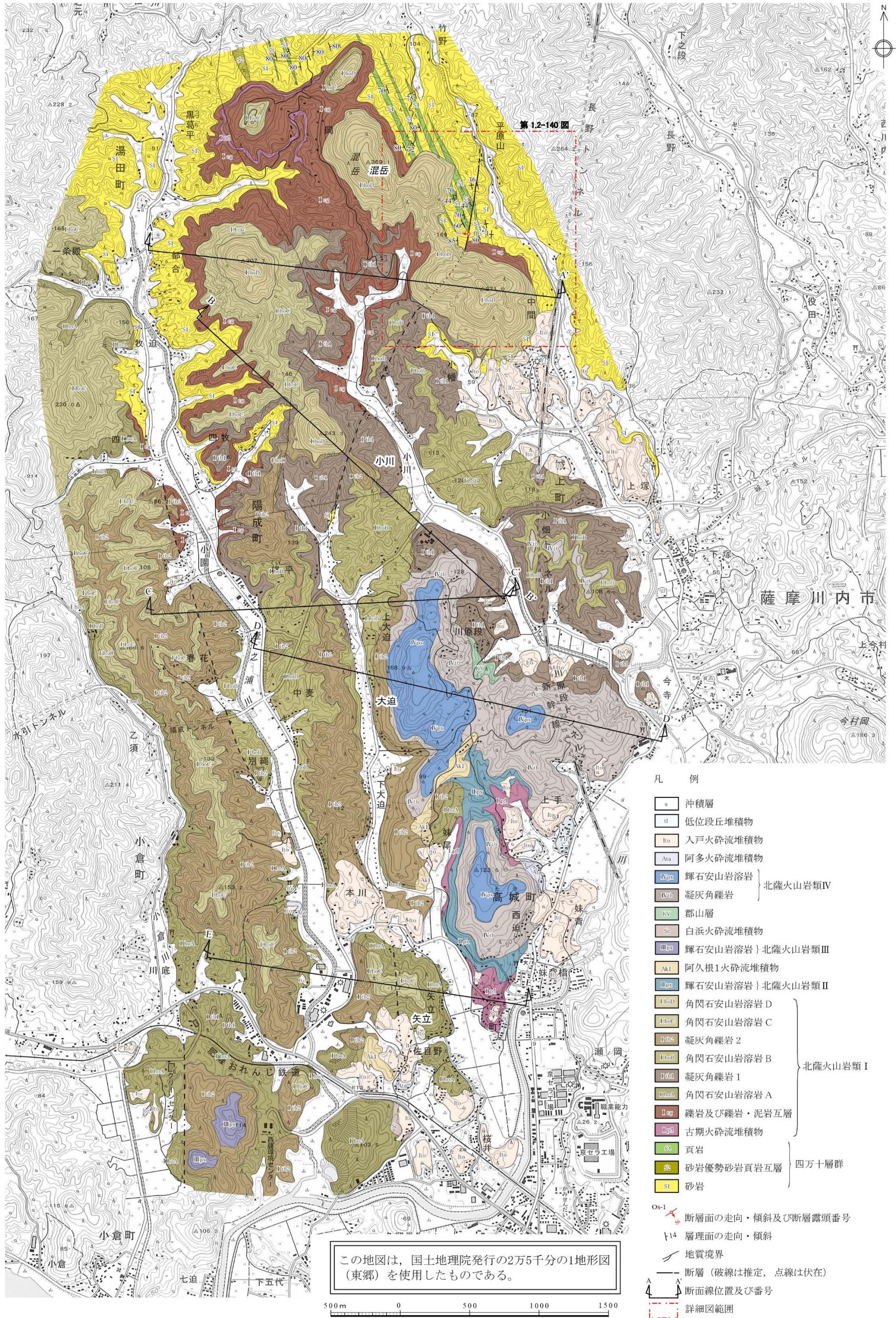
f.N88W,70S 断層面の走向・傾斜

j.N13W,39E 節理面の走向・傾斜

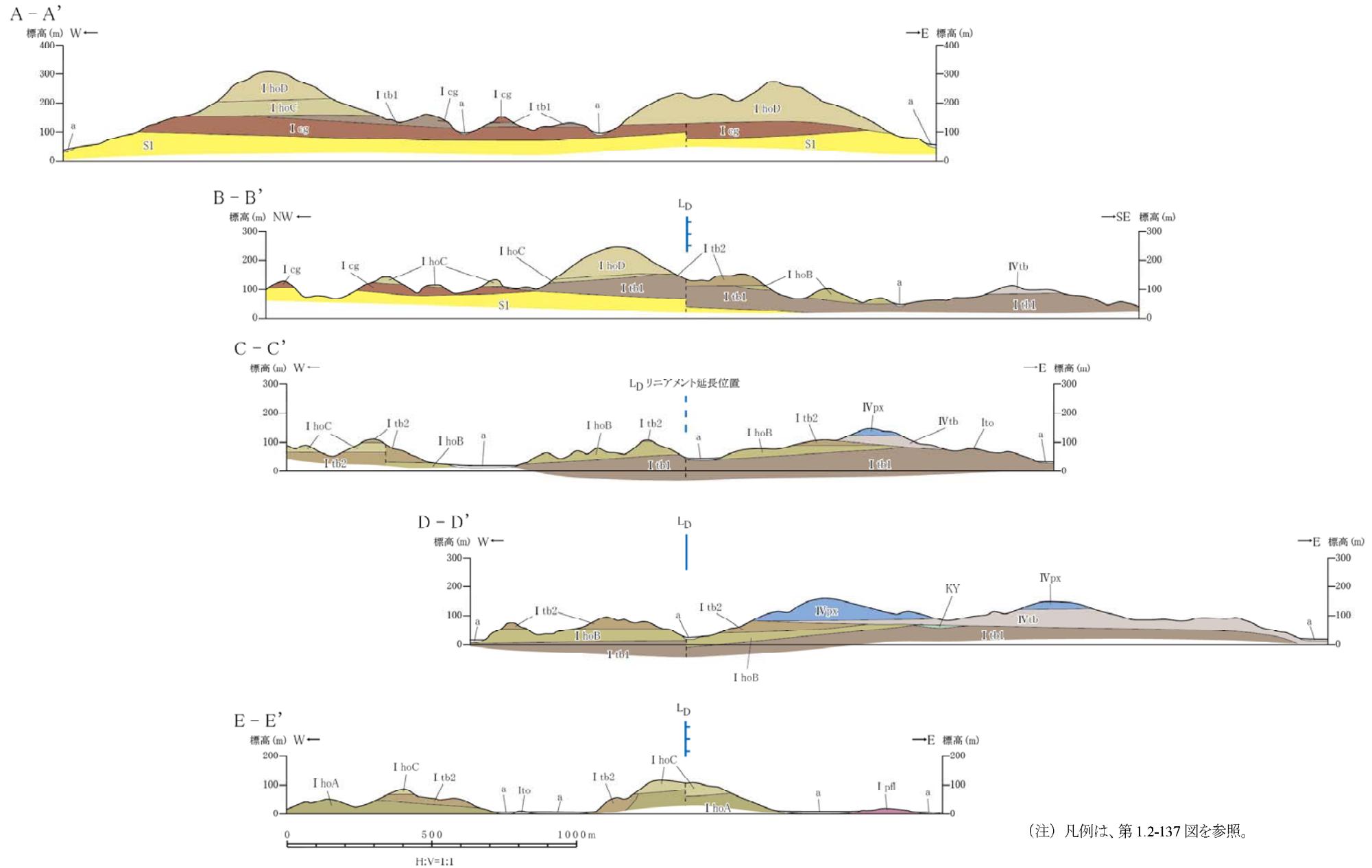
第1.2-135図(4) 露頭スケッチ(Loc.Hg-4, 薩摩川内市大原野東方)



第1.2-136図 大迫リニアメント周辺の空中写真判読図

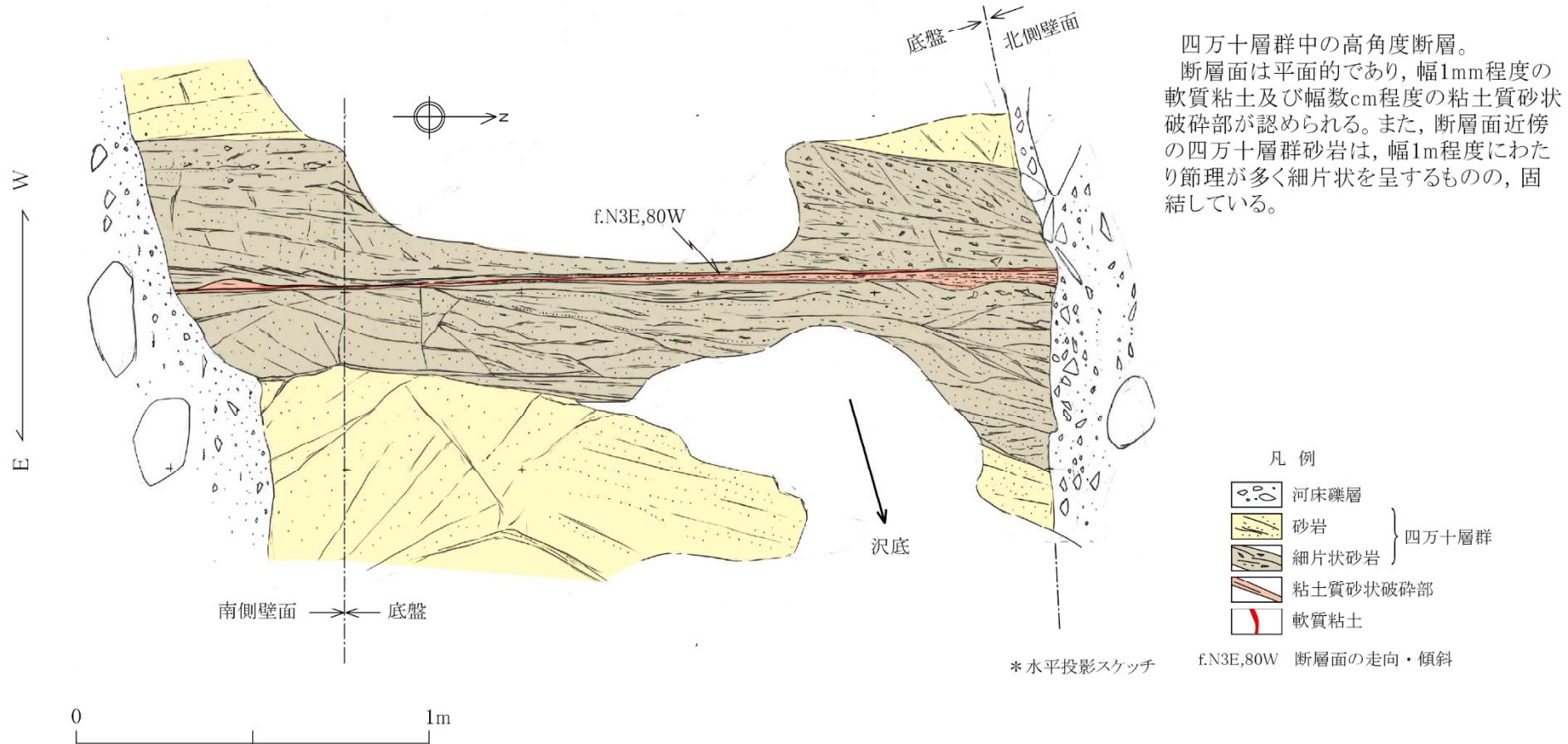


第1.2-137図 大迫リニアメント周辺の地質図

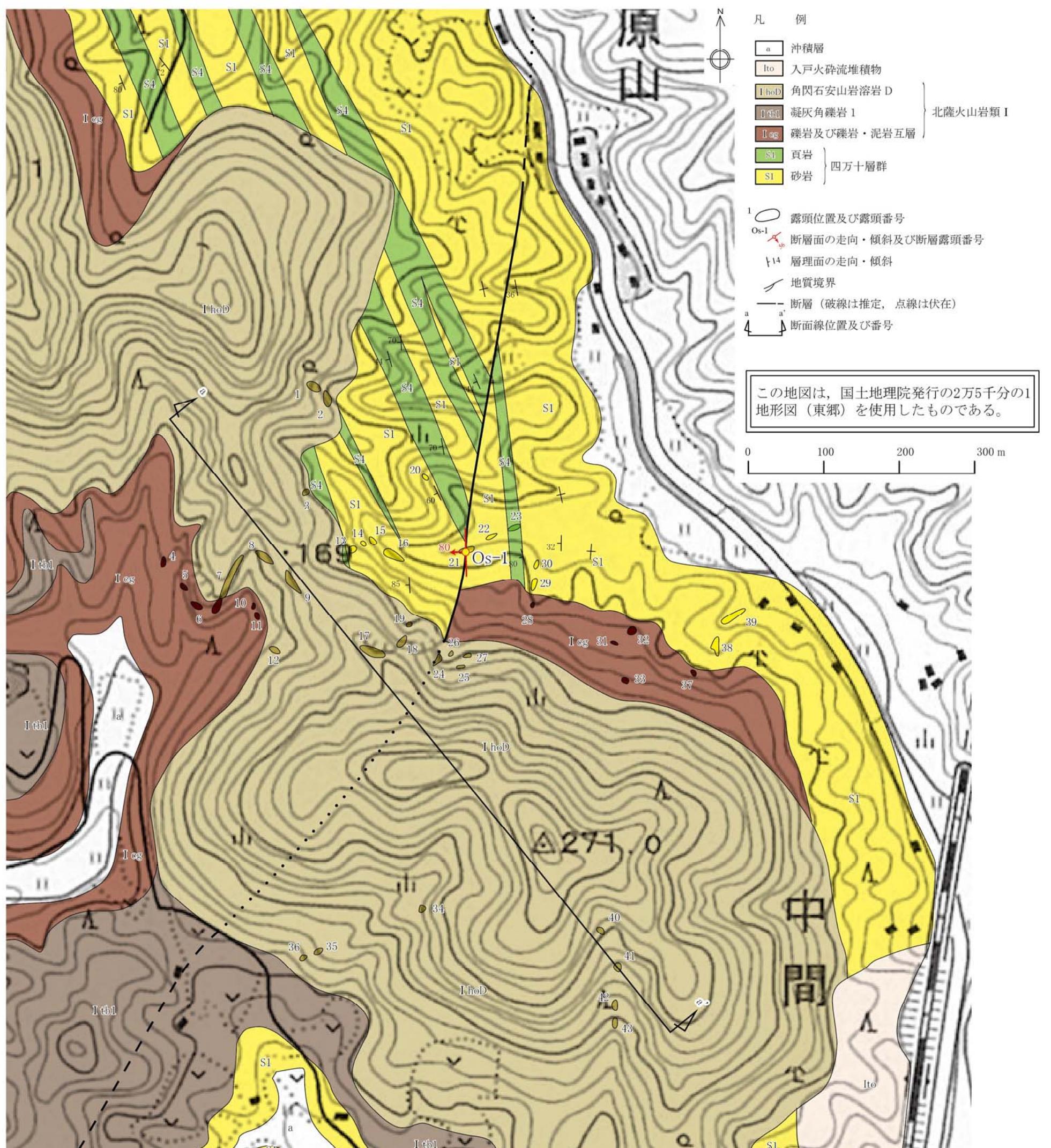


(注) 凡例は、第1.2-137図を参照。

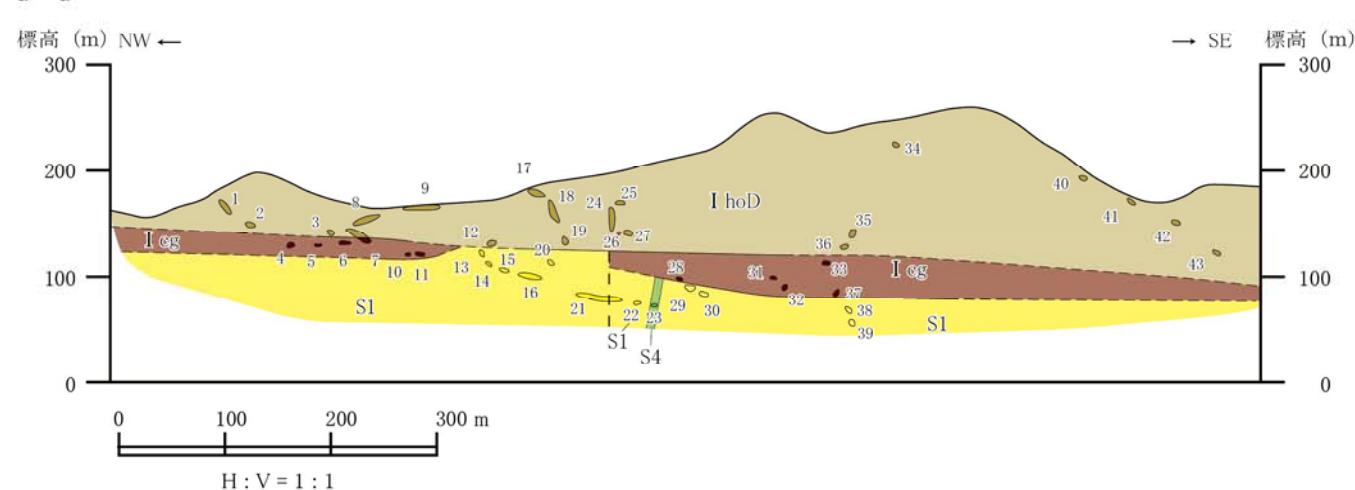
第1.2-138図 大迫リニアメント周辺の地質断面図



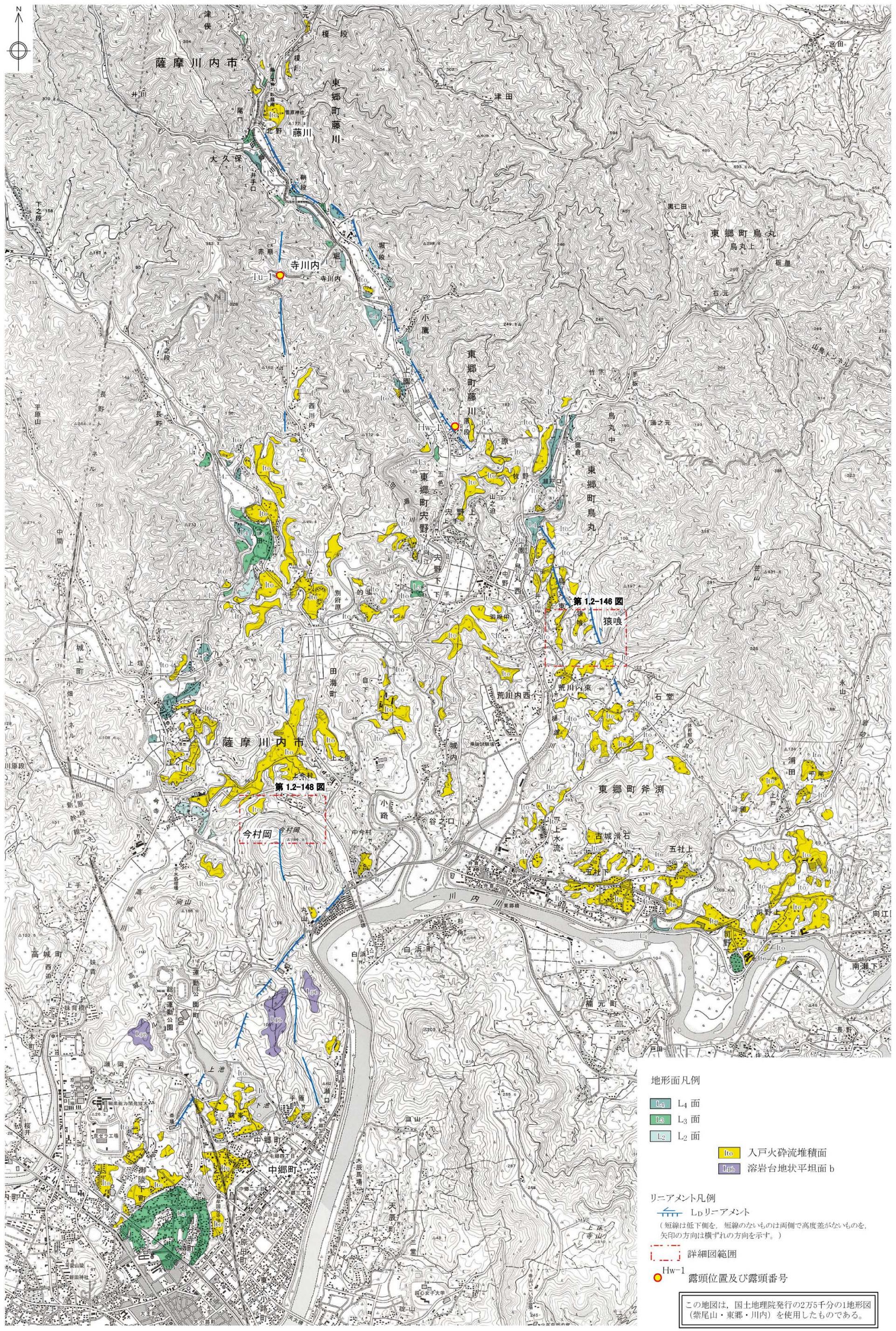
第1.2-139図 露頭スケッチ(Loc.Os-1, 薩摩川内市混岳南東)



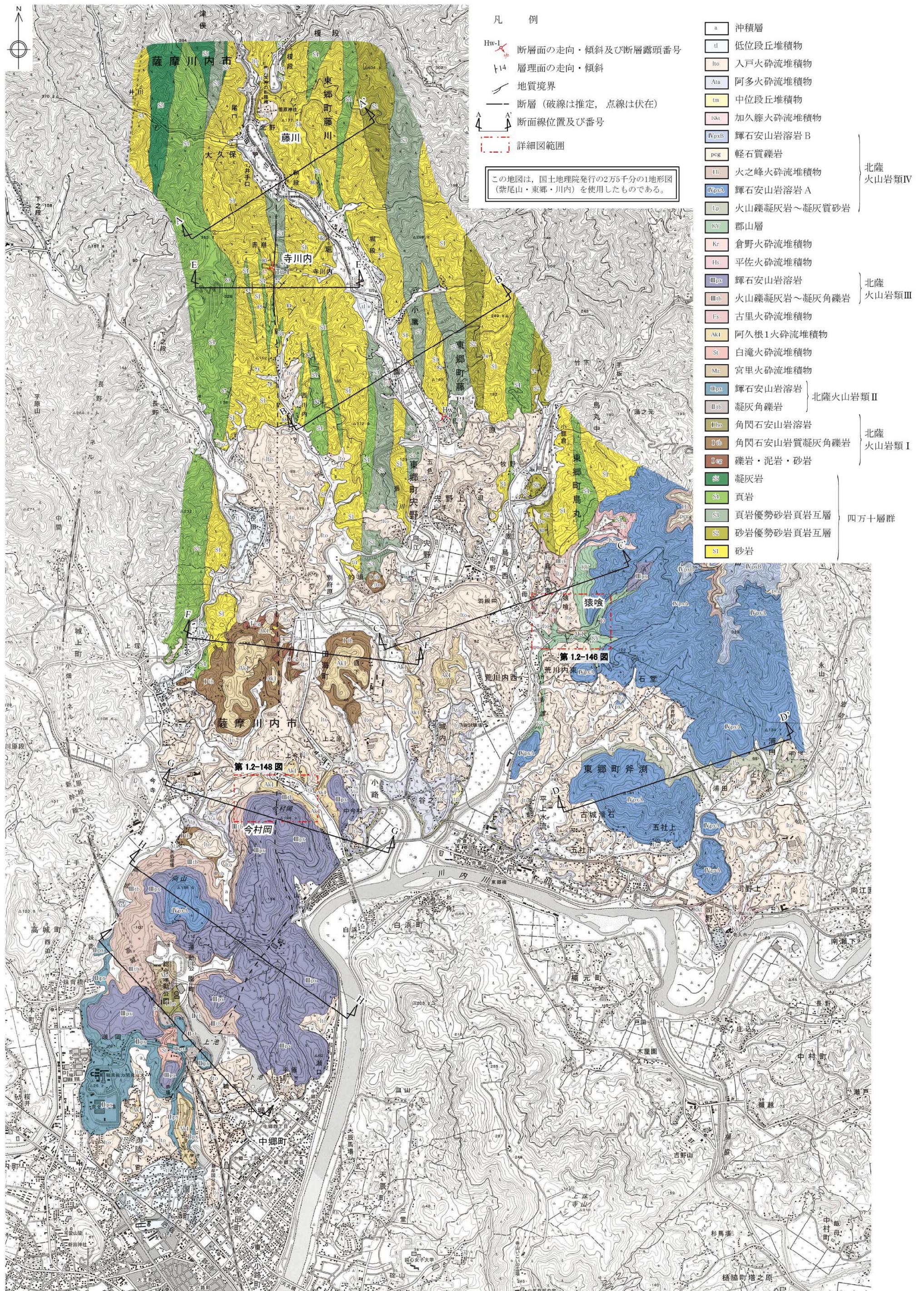
a - a'



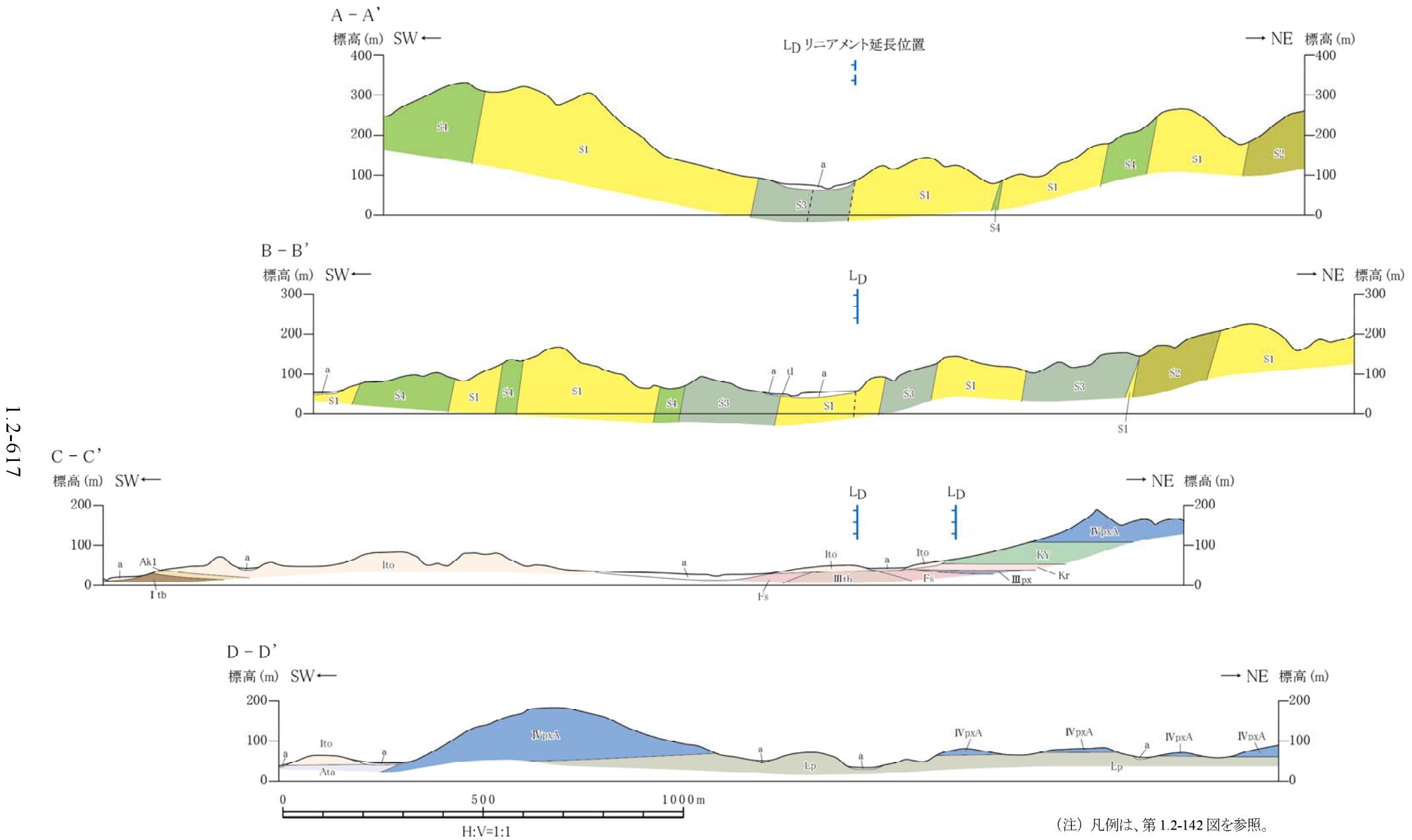
第1.2-140図 ルートマップ・地質断面図(薩摩川内市混岳付近)



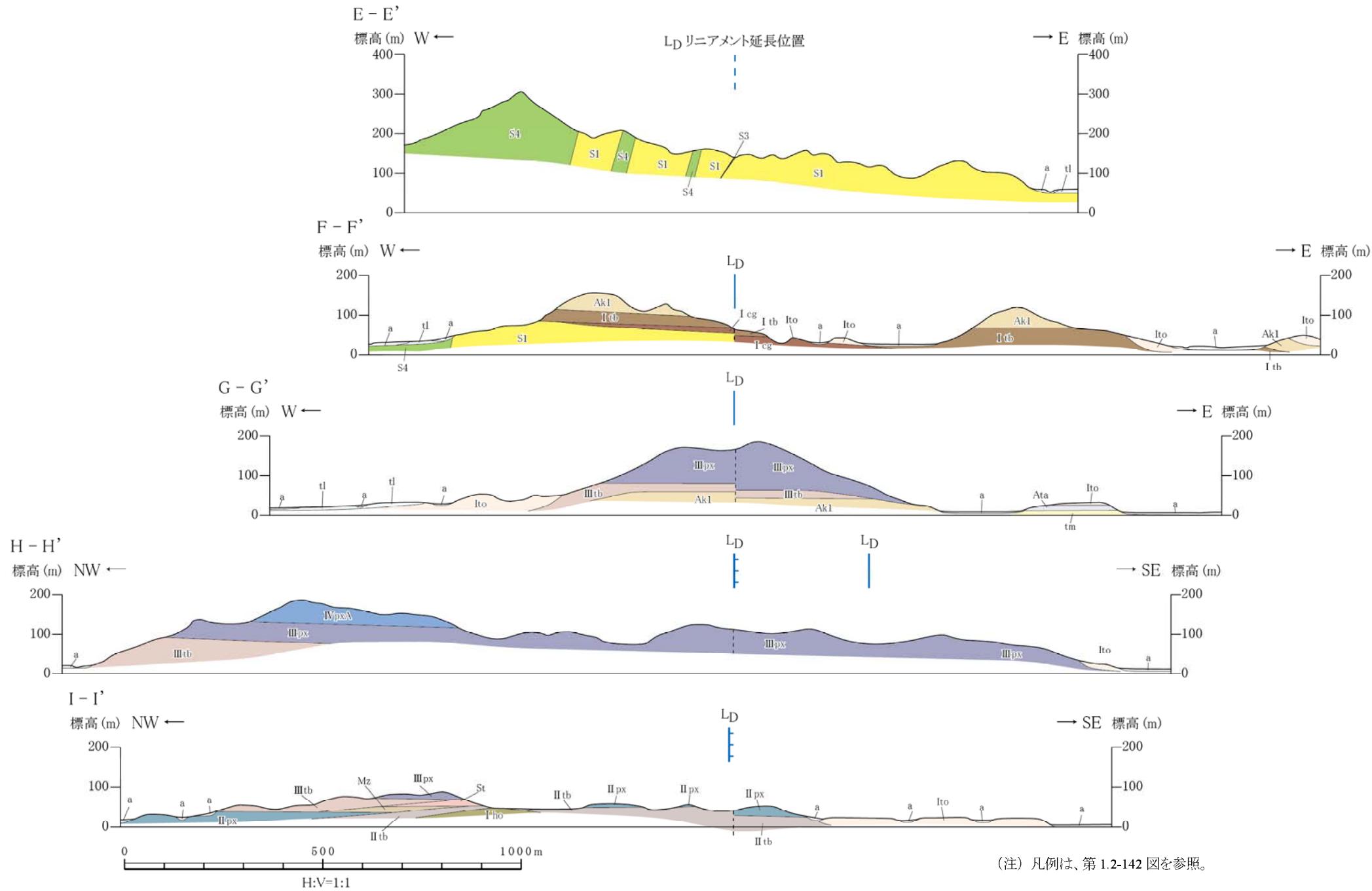
第1.2-141図 横渡川リニアメント及び田海リニアメント周辺の空中写真判読図



第1.2-142図 樋渡川リニアメント及び田海リニアメント周辺の地質図

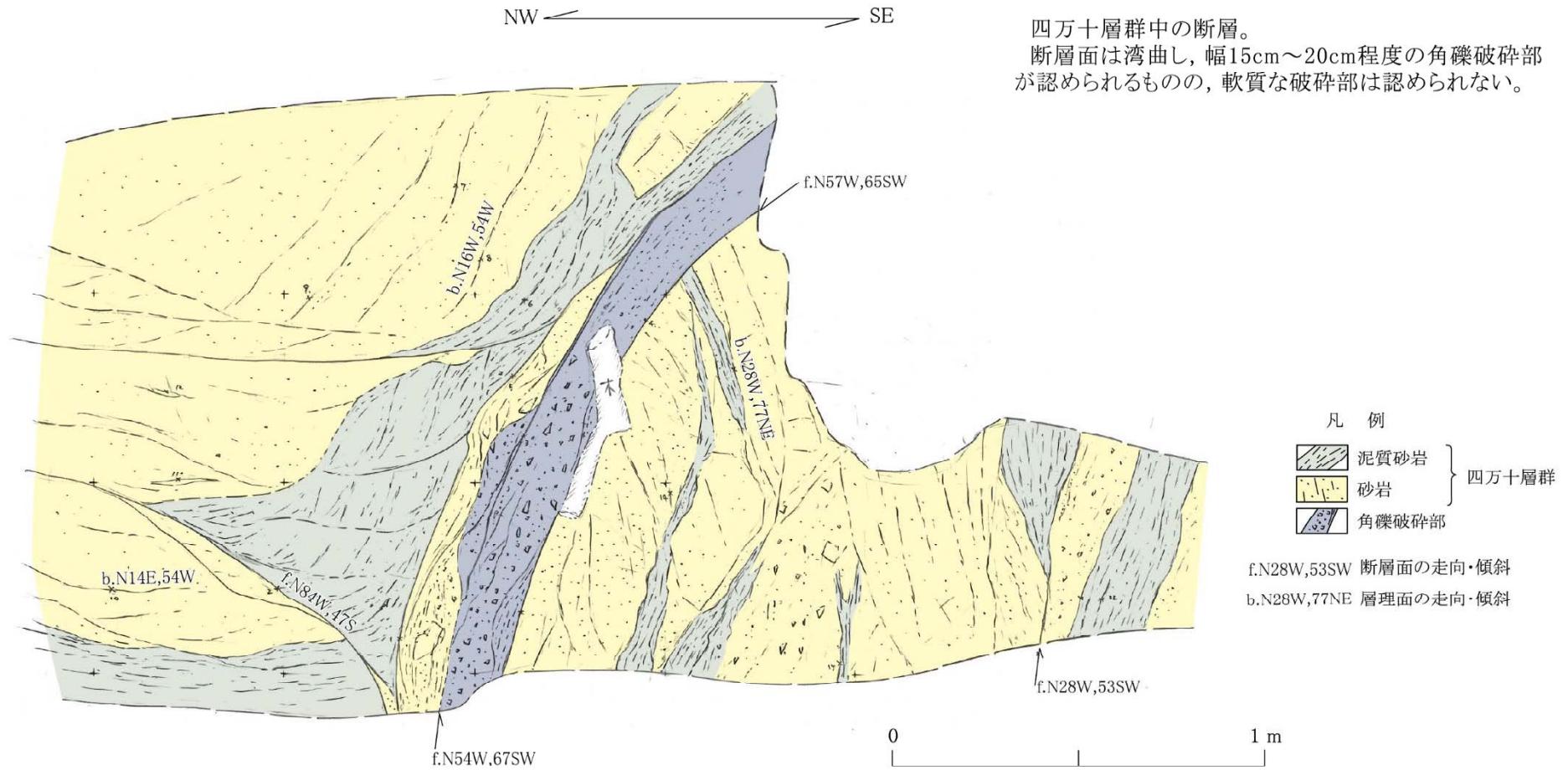


第1.2-143図 横渡川リニアメント周辺の地質断面図

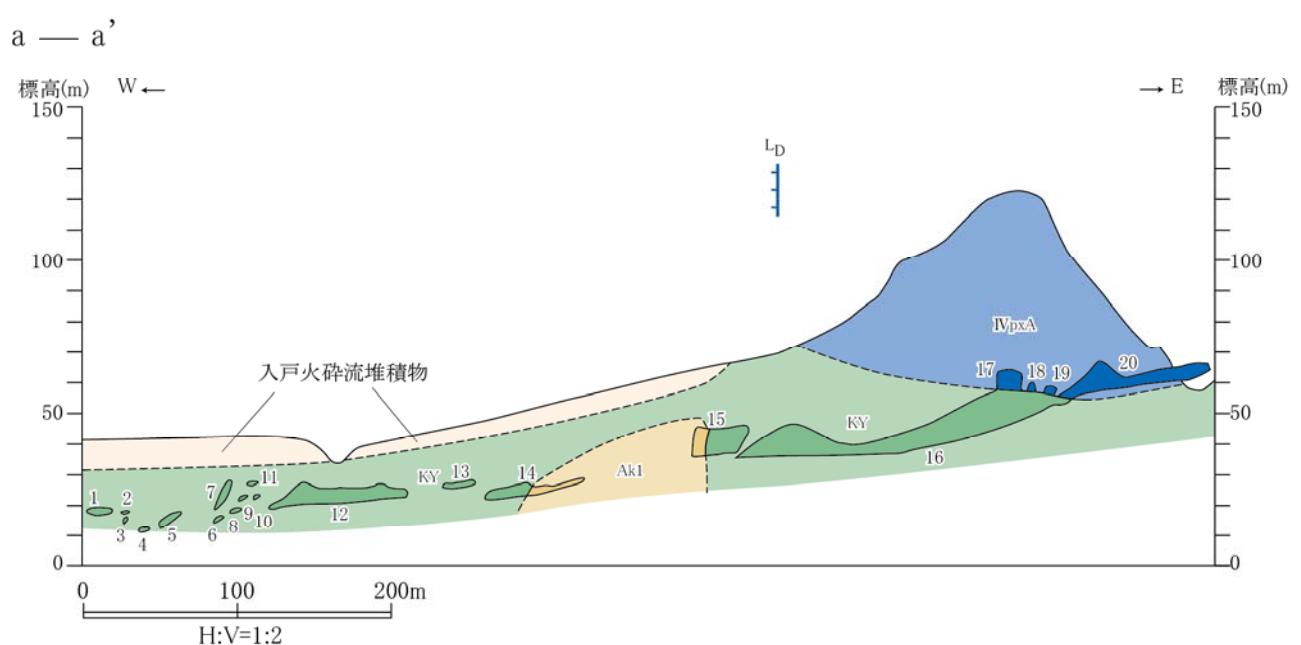


(注) 凡例は、第1.2-142図を参照。

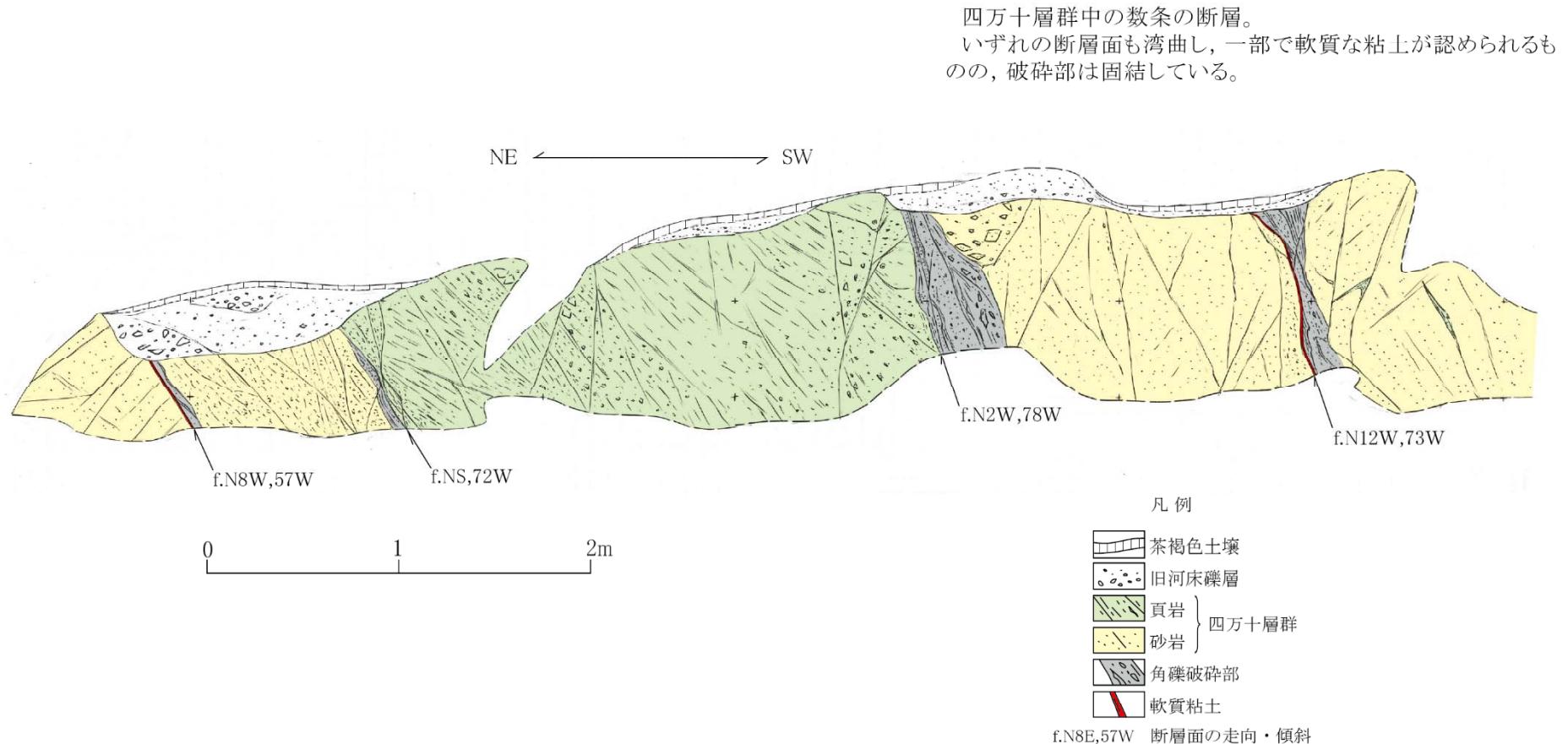
第1.2-144図 田海リニアメント周辺の地質断面図



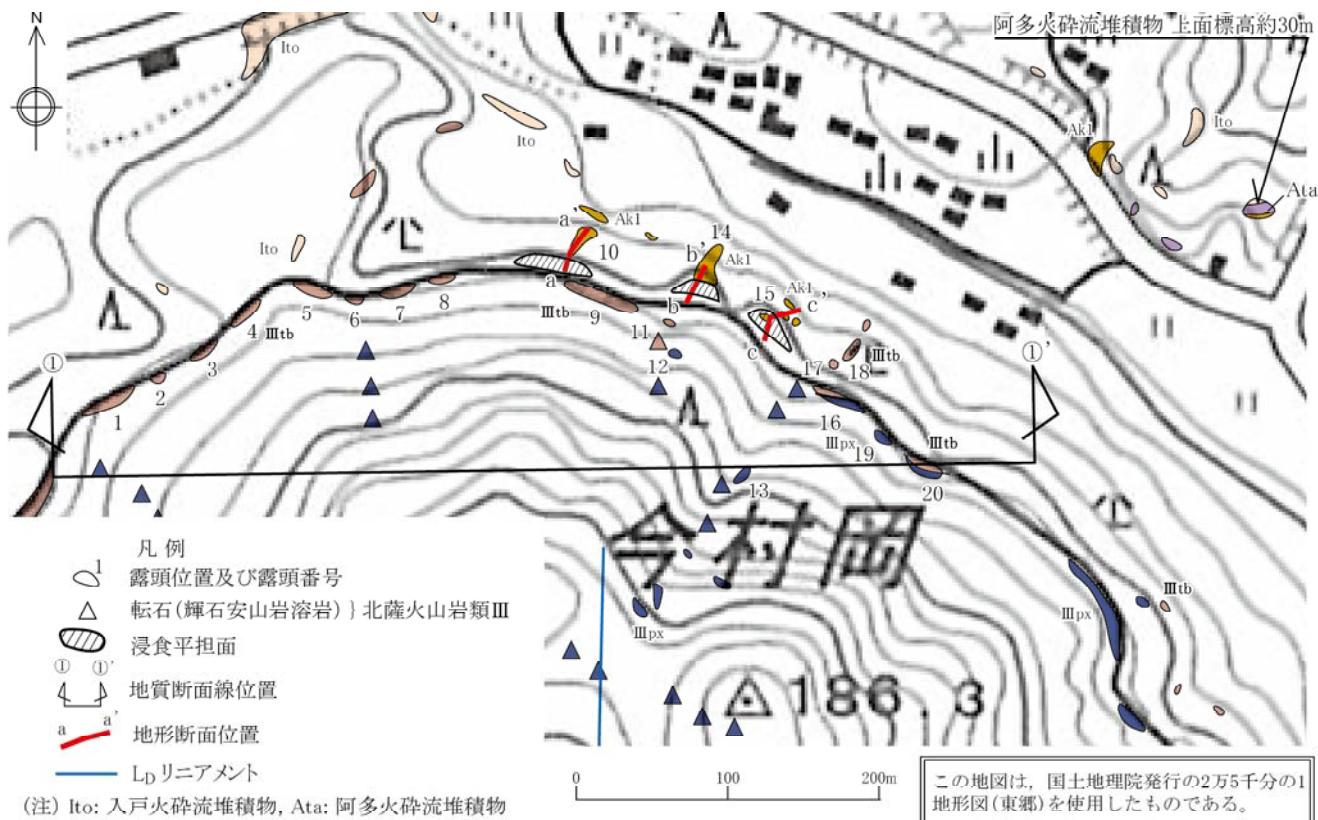
第1.2-145図 露頭スケッチ(Loc.Hw-1, 薩摩川内市東郷町藤川)



第1.2-146図 ルートマップ・地質断面図(薩摩川内市東郷町猿喰付近)

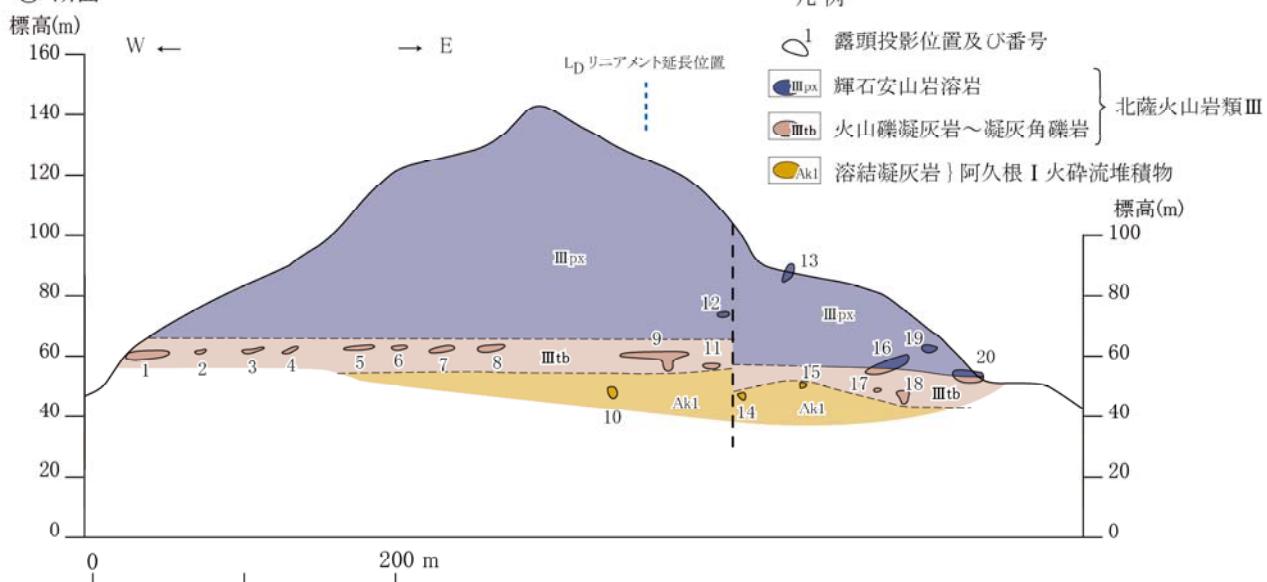


第1.2-147図 露頭スケッチ(Loc.Tu-1, 薩摩川内市東郷町藤川南西)



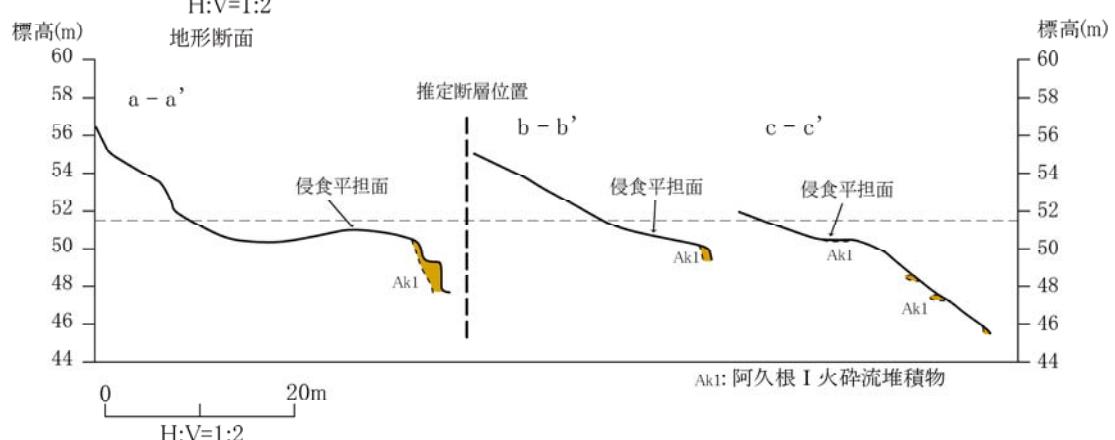
この地図は、国土地理院発行の2万5千分の1地図(東郷)を使用したものである。

① - ①' 断面

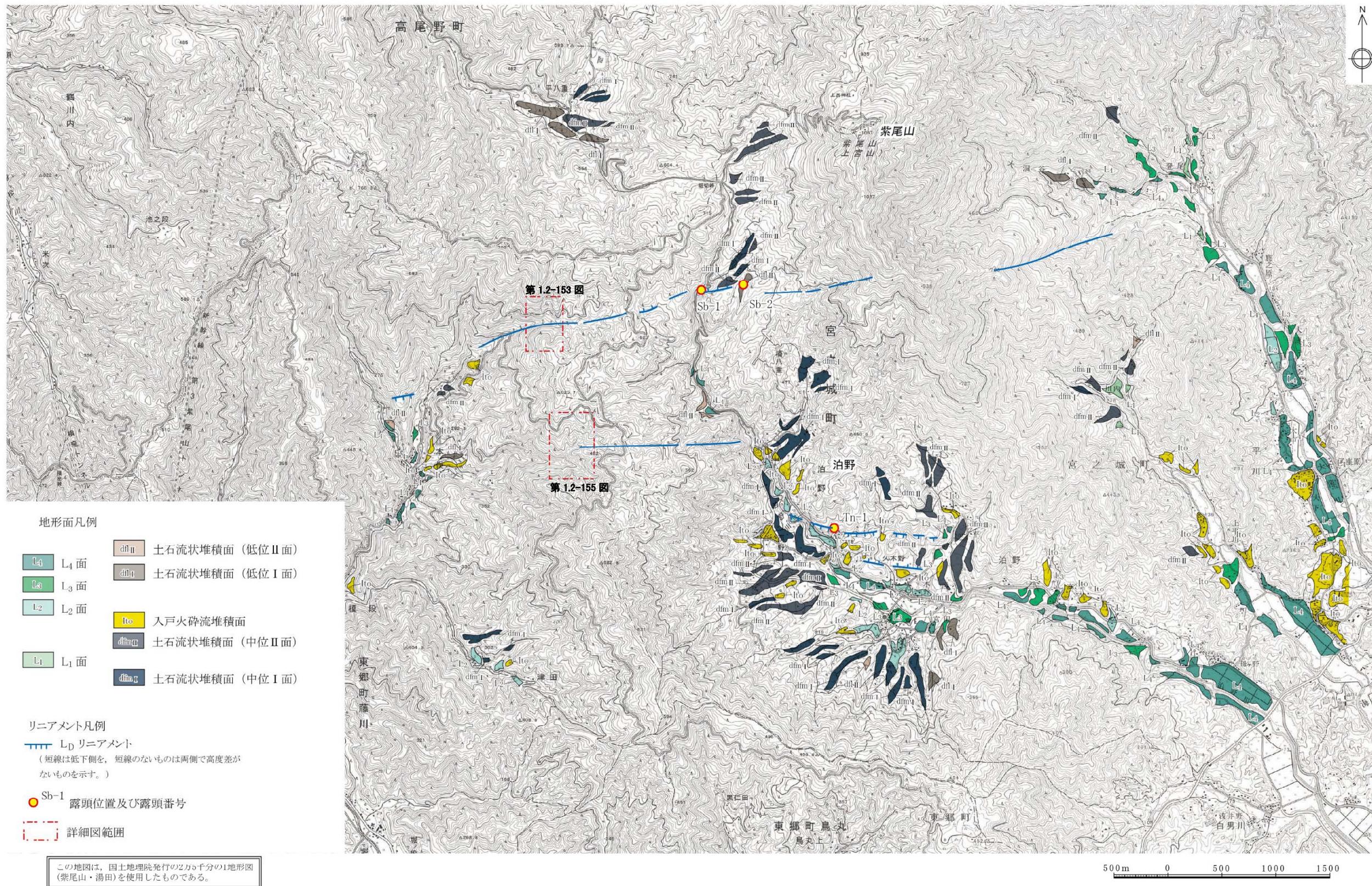


凡例

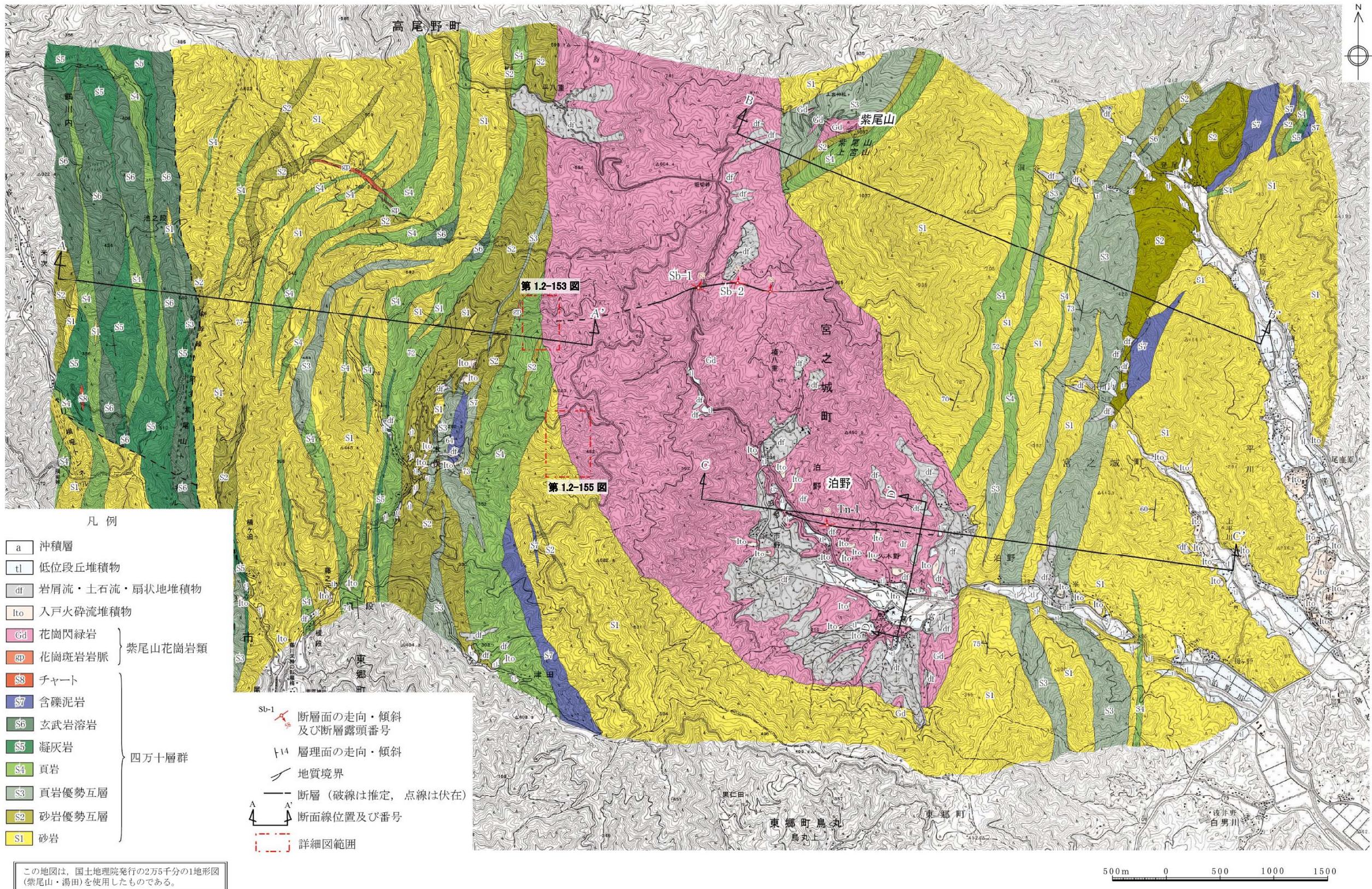
- 露頭投影位置及び番号
 - IIIpx 輝石安山岩溶岩
 - IIItb 火山礫凝灰岩～凝灰角礫岩
 - Ak1 溶結凝灰岩
- } 北薩火山岩類III
} 阿久根I火碎流堆積物



第1.2-148図 ルートマップ及び地質・地形断面図(薩摩川内市今村岡付近)

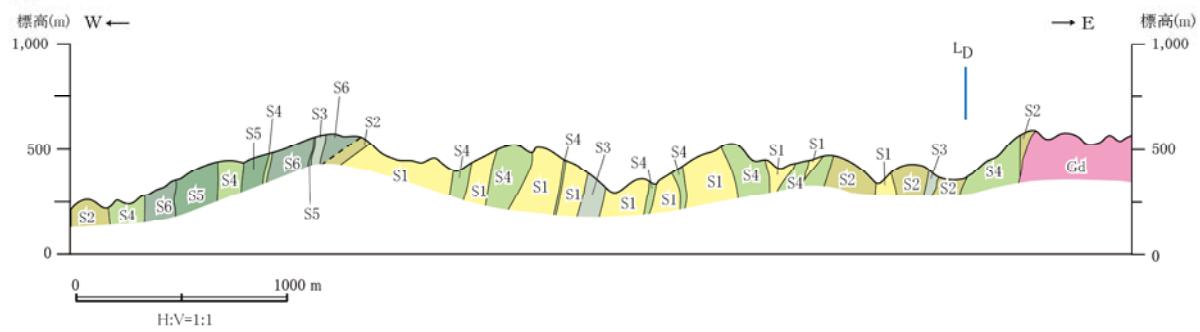


第1.2-149図 紫尾山南・泊野リニアメント周辺の空中写真判読図

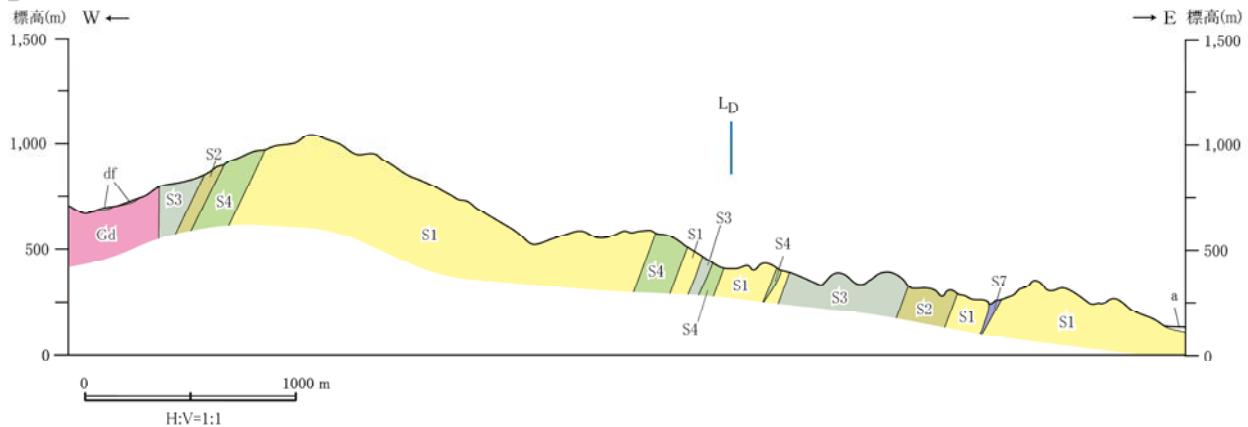


第1.2-150図 紫尾山南・泊野リニアメント周辺の地質図

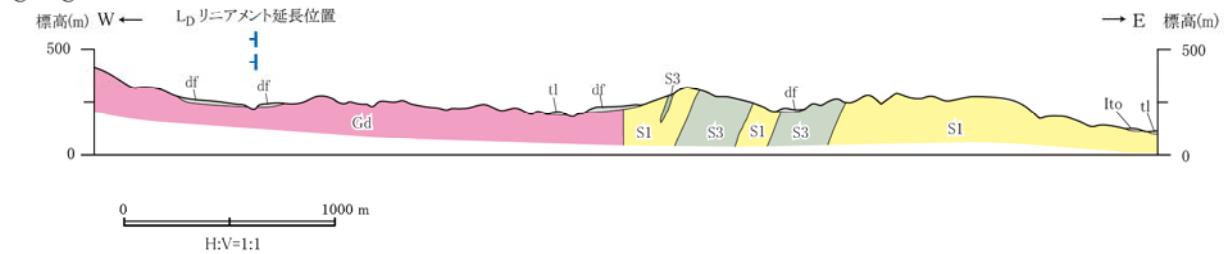
A - A'



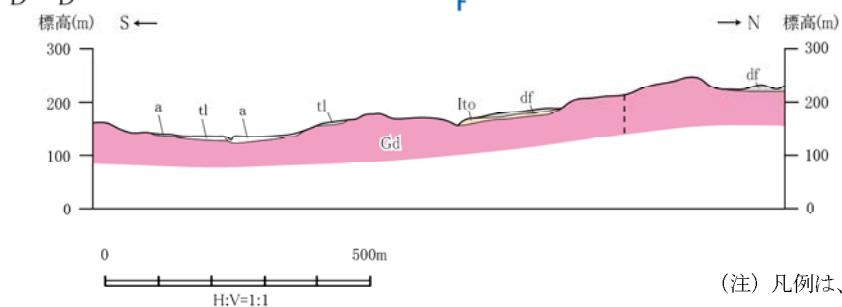
B - B'



C - C'



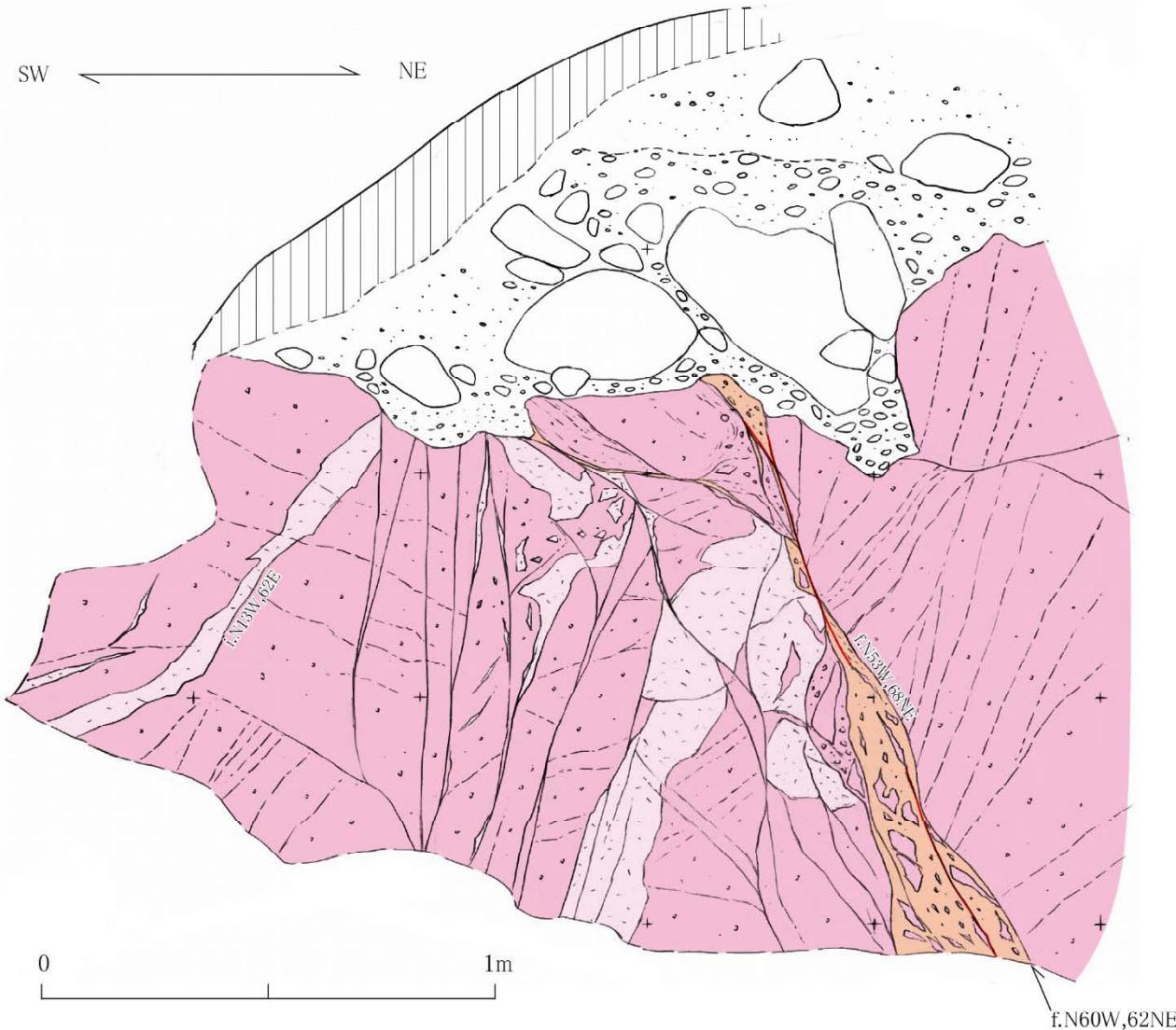
D - D'



(注) 凡例は、第1.2-150図を参照。

第1.2-151図 紫尾山南・泊野リニアメント周辺の地質断面図

1.2-626



第1.2-152図(1) 露頭スケッチ(Loc. Sb-1, 薩摩郡さつま町掘切峠南方)

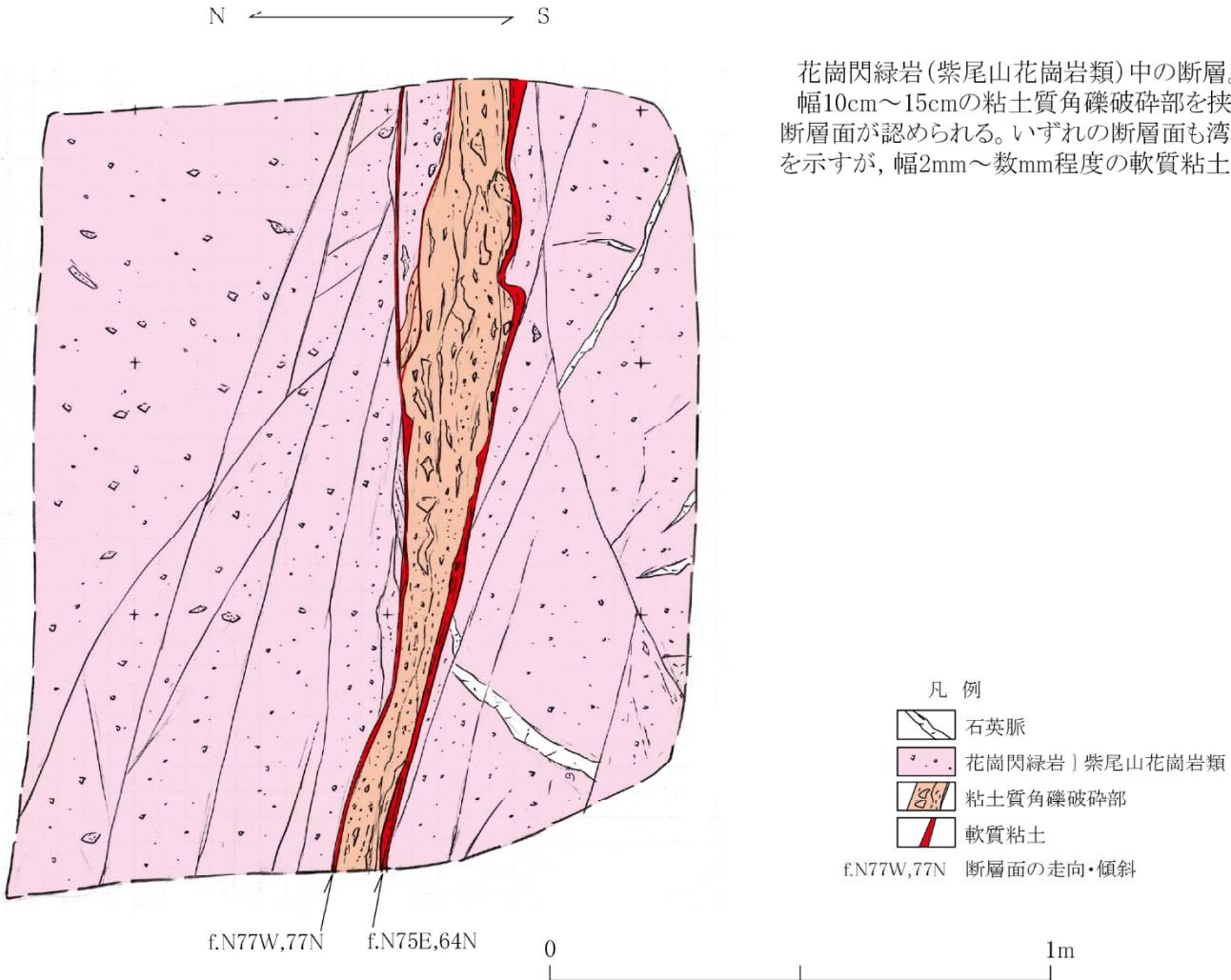
花崗閃綠岩（紫尾山花崗岩類）中の断層。
断層面は湾曲し、幅1mm程度の軟質粘土
及び幅数cm～30cm程度の鱗片状破碎部が
認められる。

凡例

□	褐色土壤
▨	礫層 } 旧河床礫層
■	花崗閃綠岩 } 紫尾山花崗岩類
▨	アブライト脈
▨	含礫鱗片状破碎部
/	軟質粘土

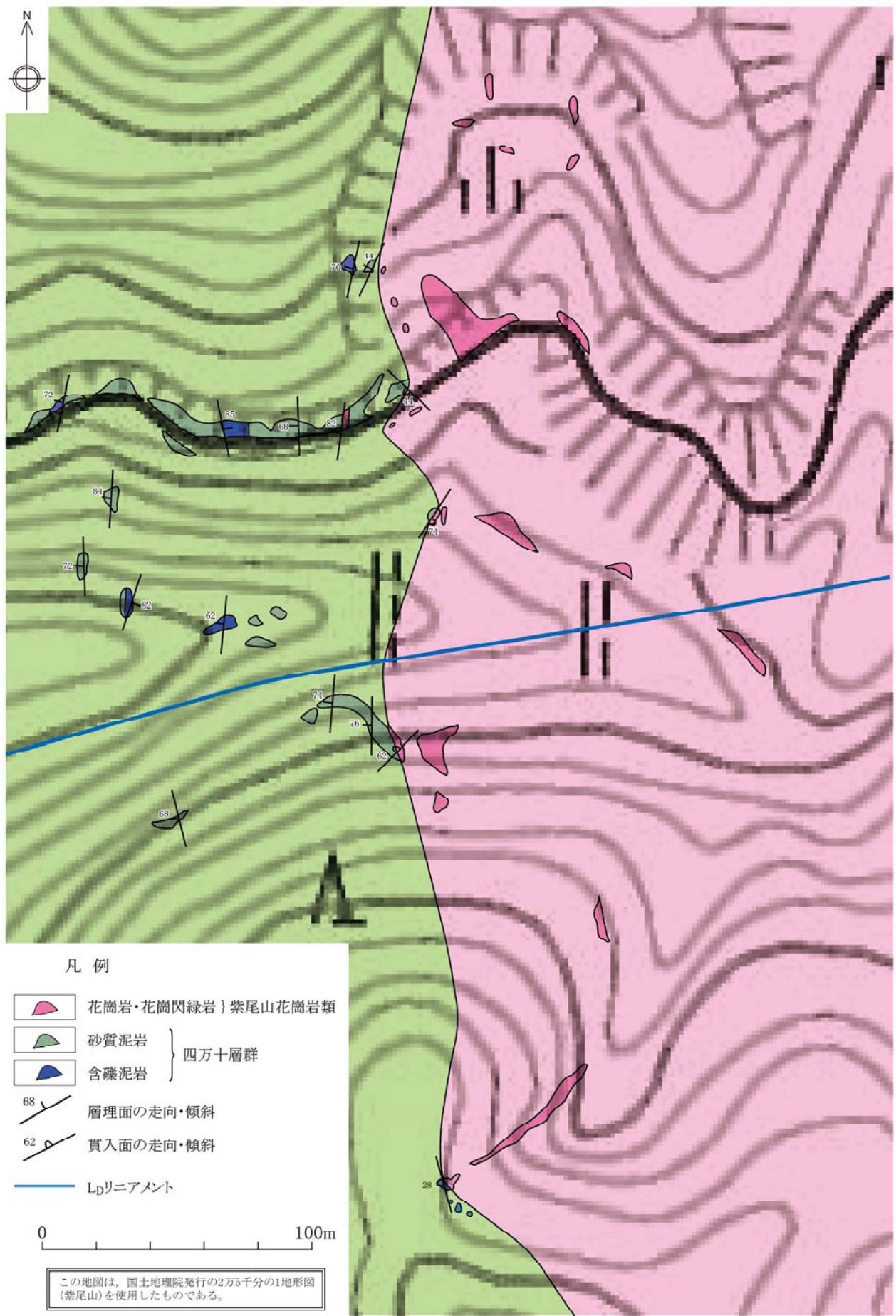
f.N60W,62NE 断層面の走向・傾斜

i.N13W,62E 貫入面の走向・傾斜



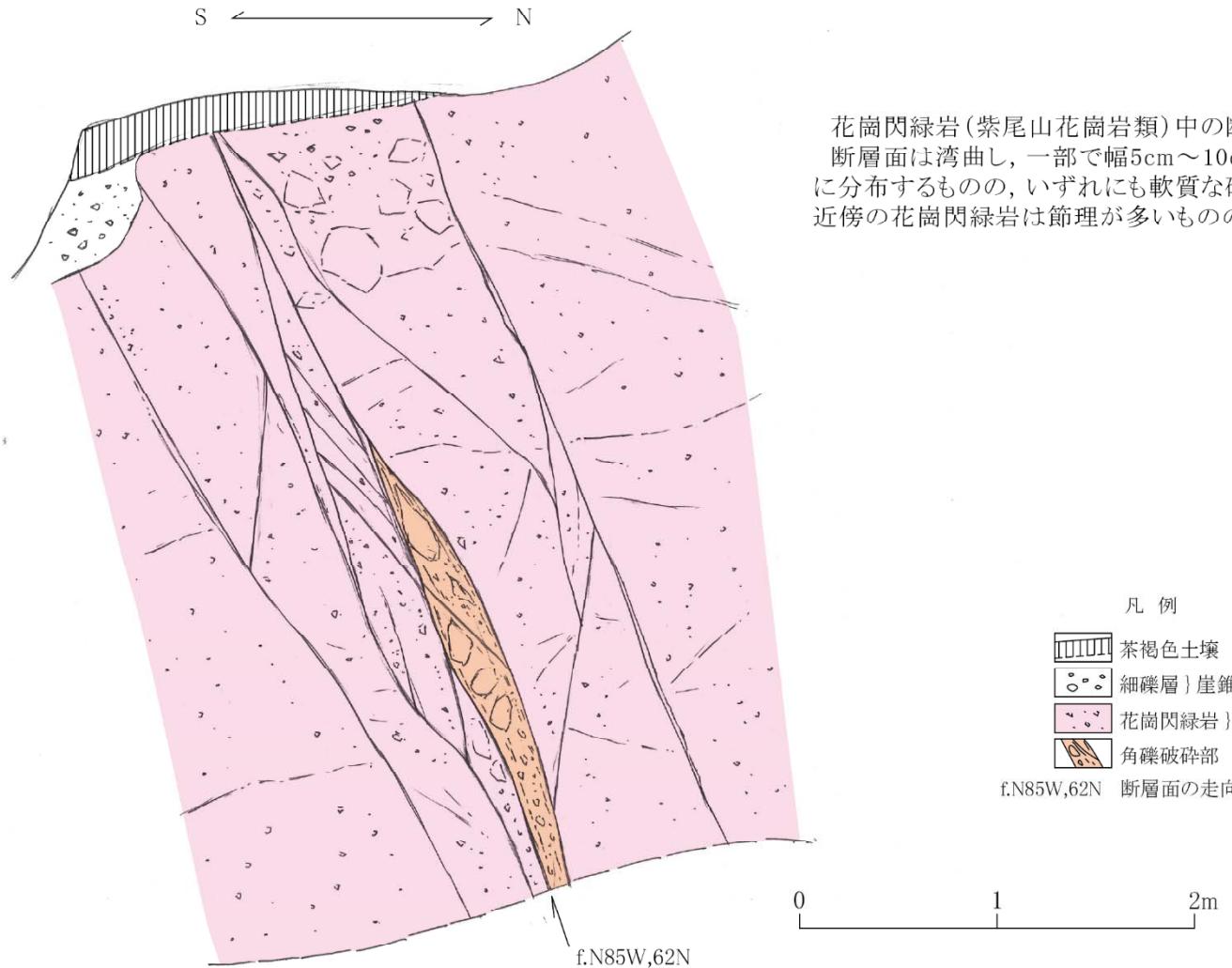
第1.2-152図(2) 露頭スケッチ(Loc. Sb-2, 薩摩郡さつま町掘切峠南方)

花崗閃綠岩(紫尾山花崗岩類)中の断層。
幅10cm～15cmの粘土質角礫破碎部を挟んでその両側に
断層面が認められる。いずれの断層面も湾曲あるいは凹凸
を示すが、幅2mm～数mm程度の軟質粘土が認められる。



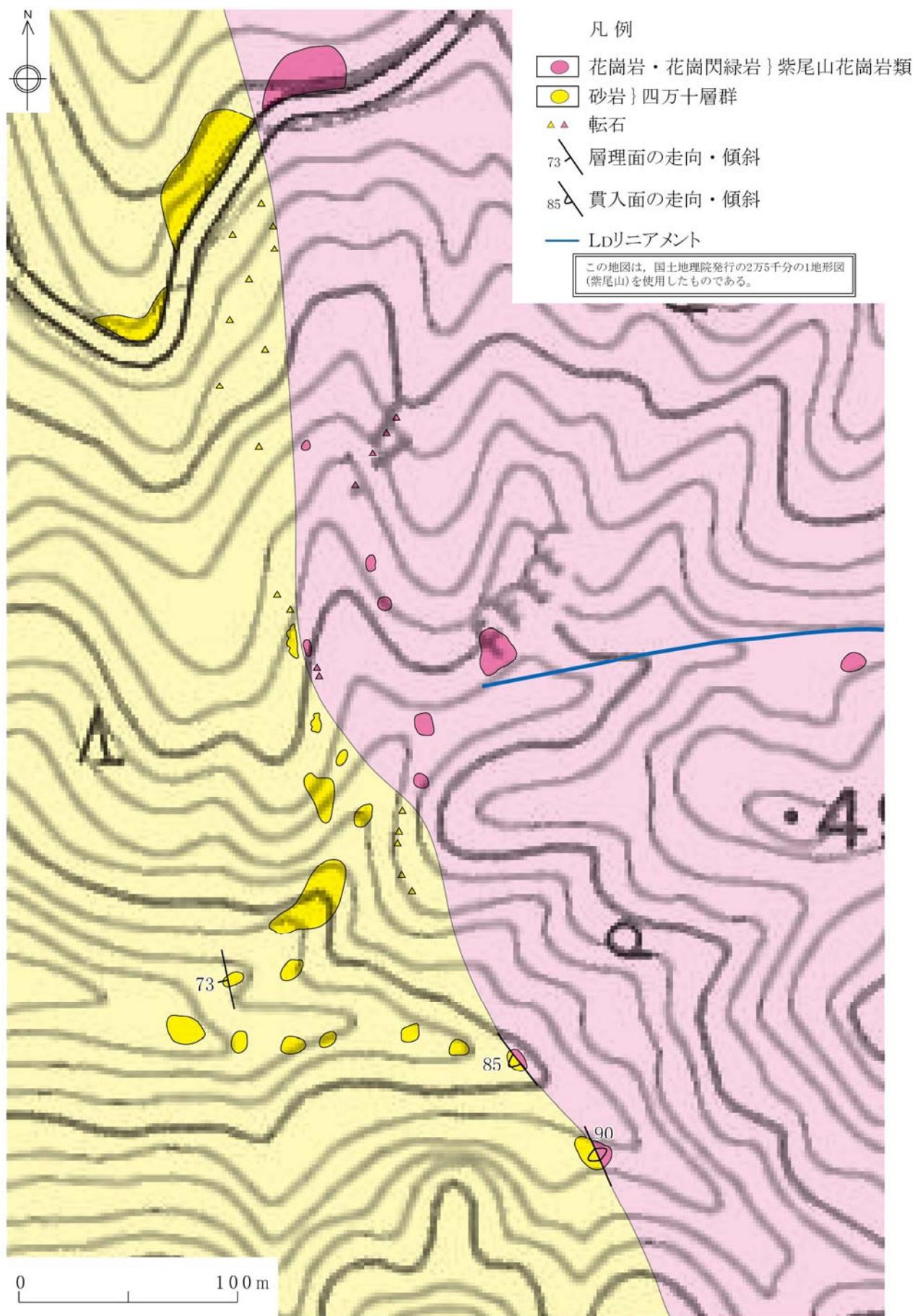
第1.2-153図 ルートマップ(薩摩川内市東郷町本俣北東付近)

1.2-629

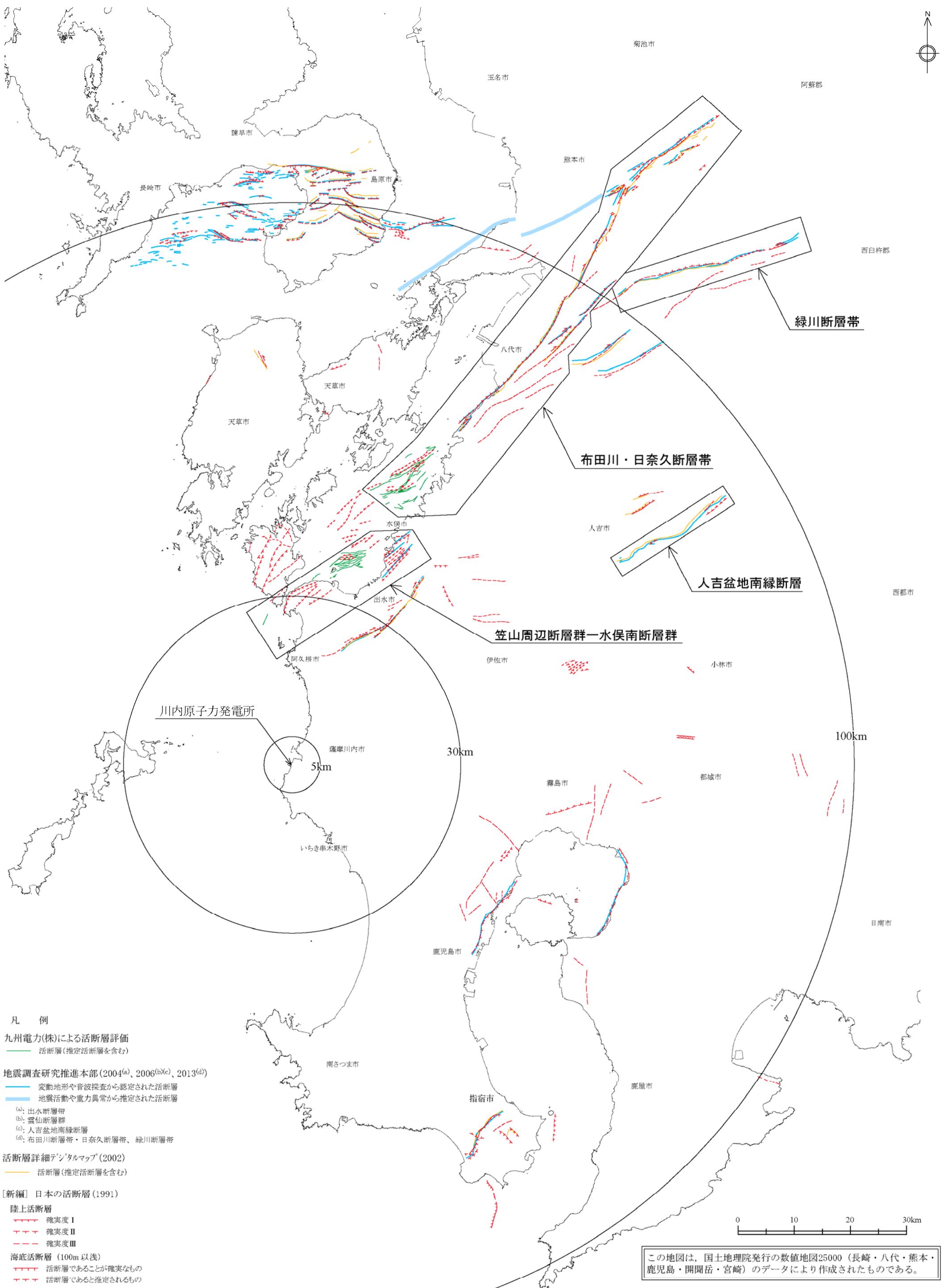


花崗閃綠岩(紫尾山花崗岩類)中の断層。
断層面は湾曲し、一部で幅5cm～10cm程度の角礫破碎部が楔状に分布するものの、いずれにも軟質な破碎部は認められず、断層面近傍の花崗閃綠岩は節理が多いものの、固結している。

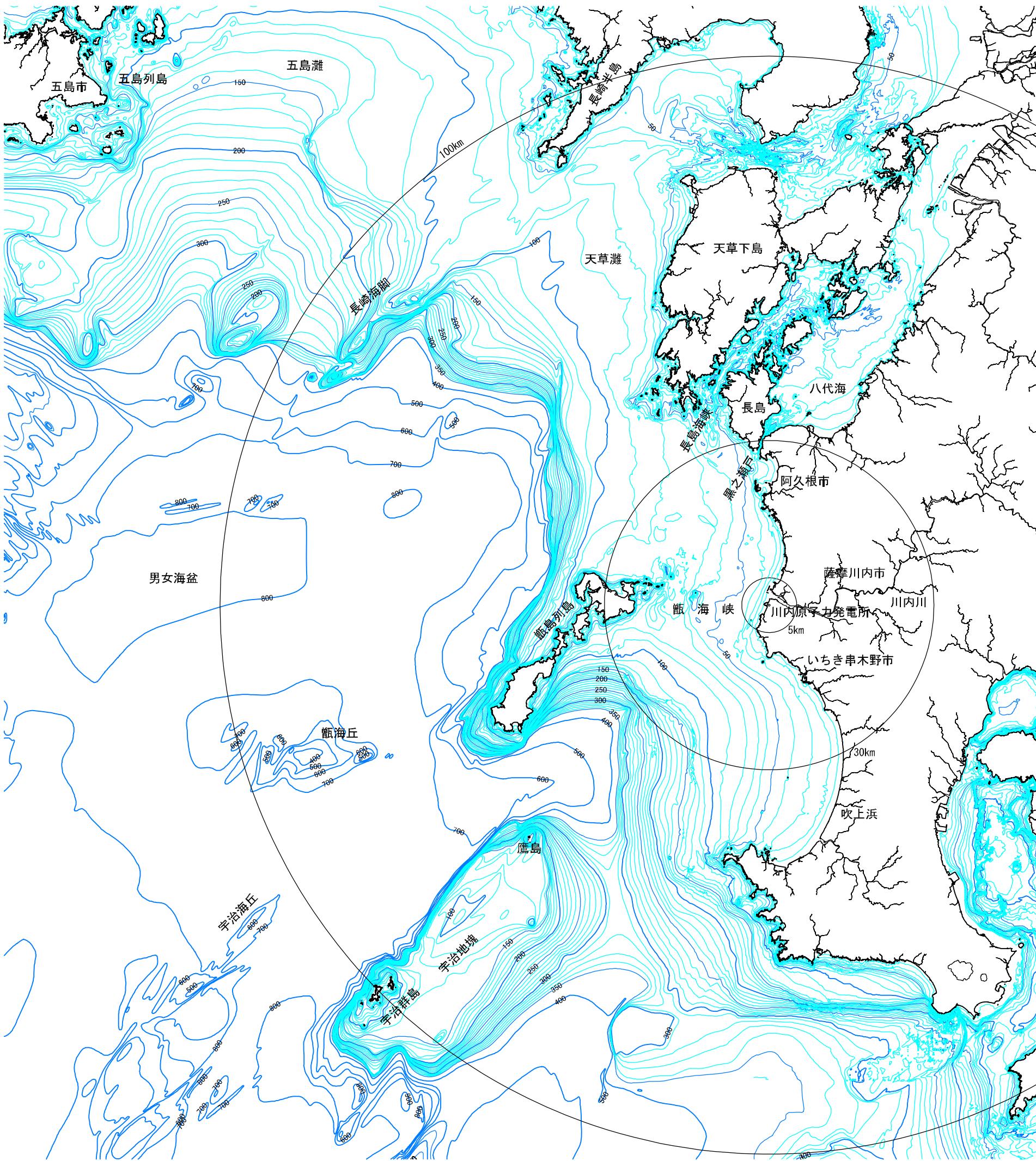
第1.2-154図 露頭スケッチ(Loc.Tn-1, 薩摩郡さつま町南方)



第1.2-155図 ルートマップ(薩摩川内市東郷町本保東方付近)



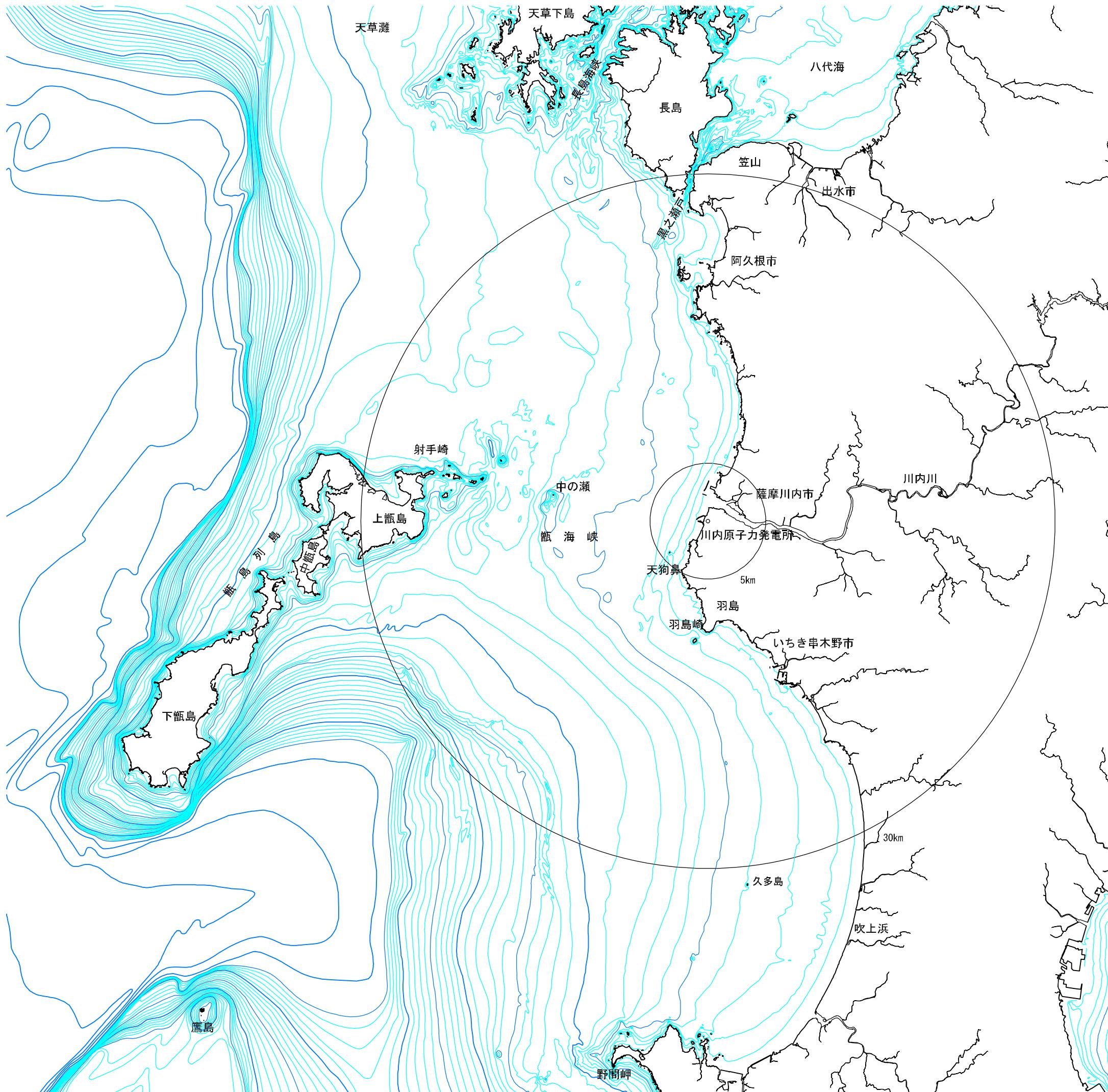
第1.2-156図 半径30km以遠の活断層分布図



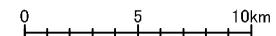
水涯線は、国土地理院発行の数値地図25000空間データ基盤(長崎)他を編集したものである。
海域の地図は、国土地理院刊行の2万5千分の1沿岸海域地形図(水俣)他・海上保安庁刊行の5万分の1沿岸の海の基本図(串木野)他・20万分の1大陸棚の海の基本図(天草灘)他を編集したものである。

0 10 20 30km

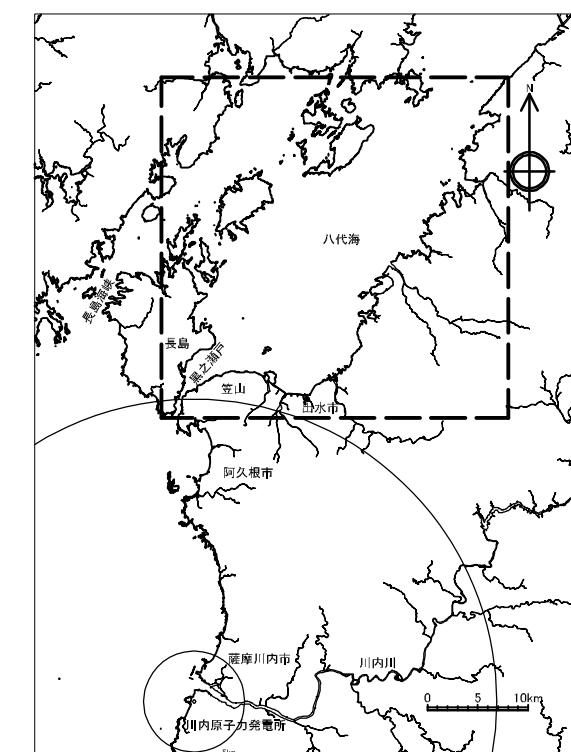
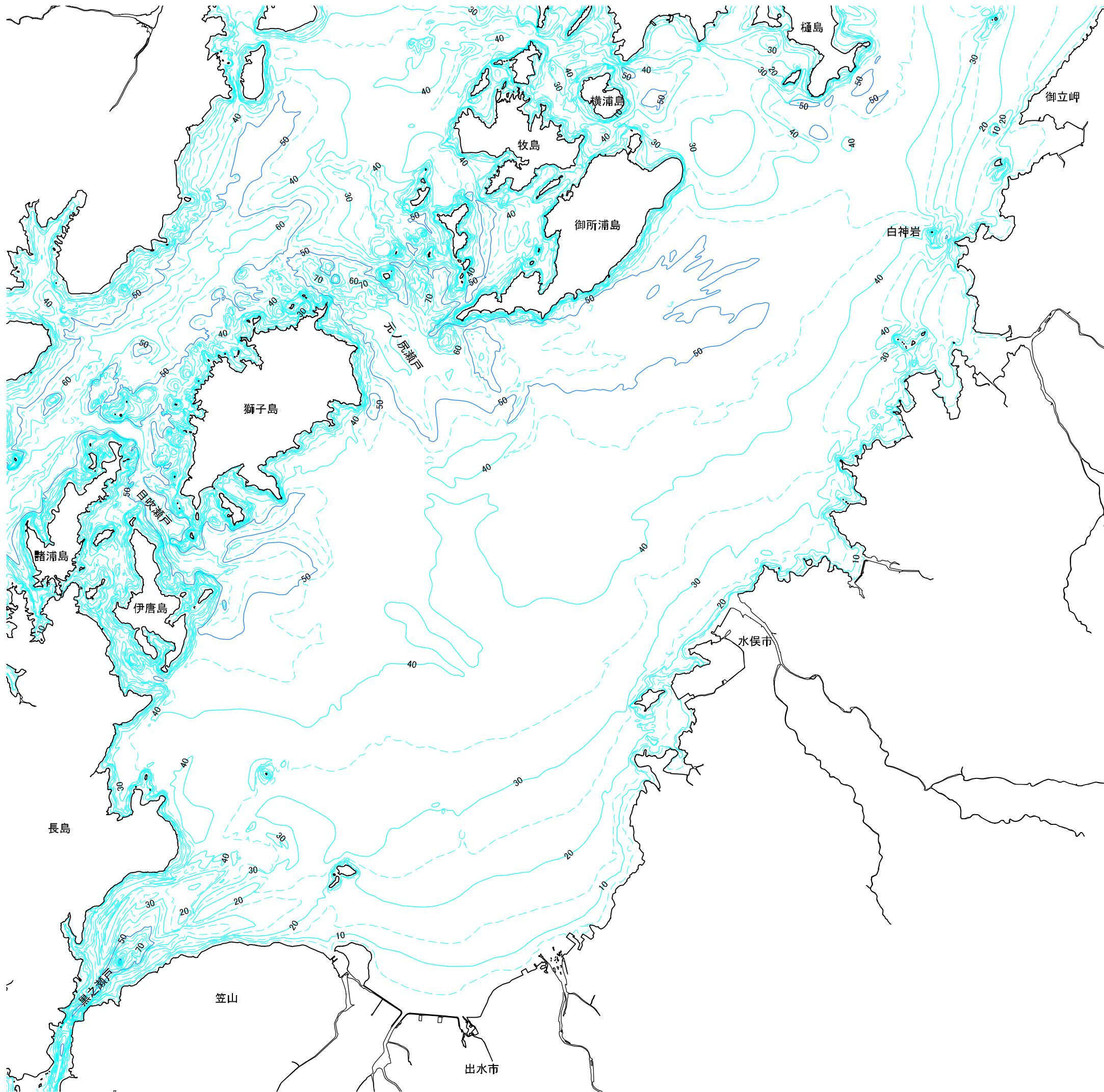
第1.2-157図 敷地周辺海域の海底地形図



水涯線は、国土地理院発行の数値地図25000空間データ基盤(熊本・鹿児島)を編集したものである。海域の地図は、国土地理院刊行の2万5千分の1沿岸海域地形図(水俣)他・海上保安庁刊行の5万分の1沿岸の海の基本図(串木野)他・20万分の1大陸棚の海の基本図(天草灘)他を編集したものである。



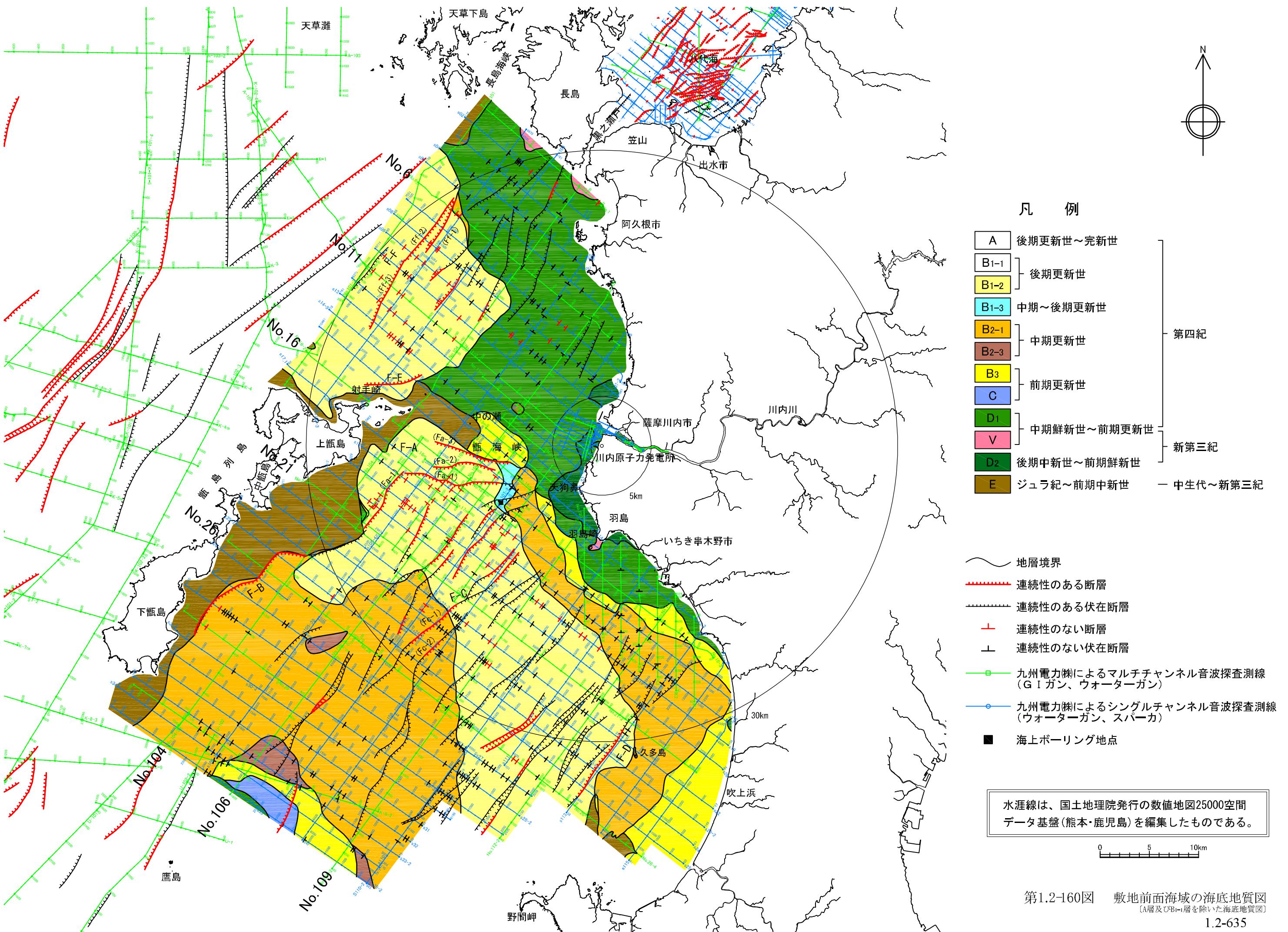
第1.2-158図 敷地前面海域の海底地形図

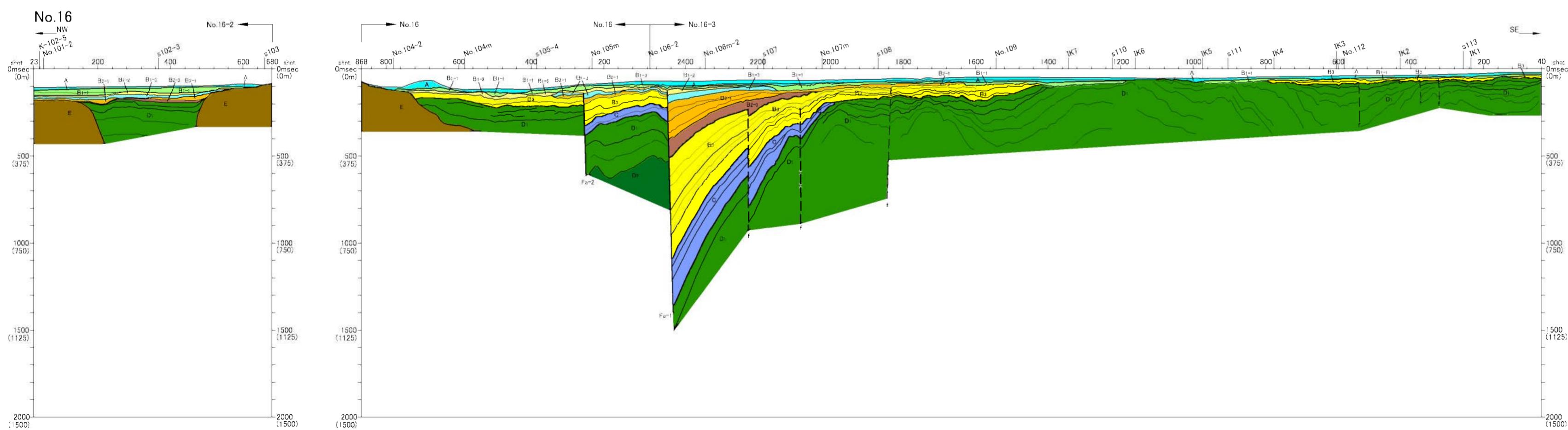
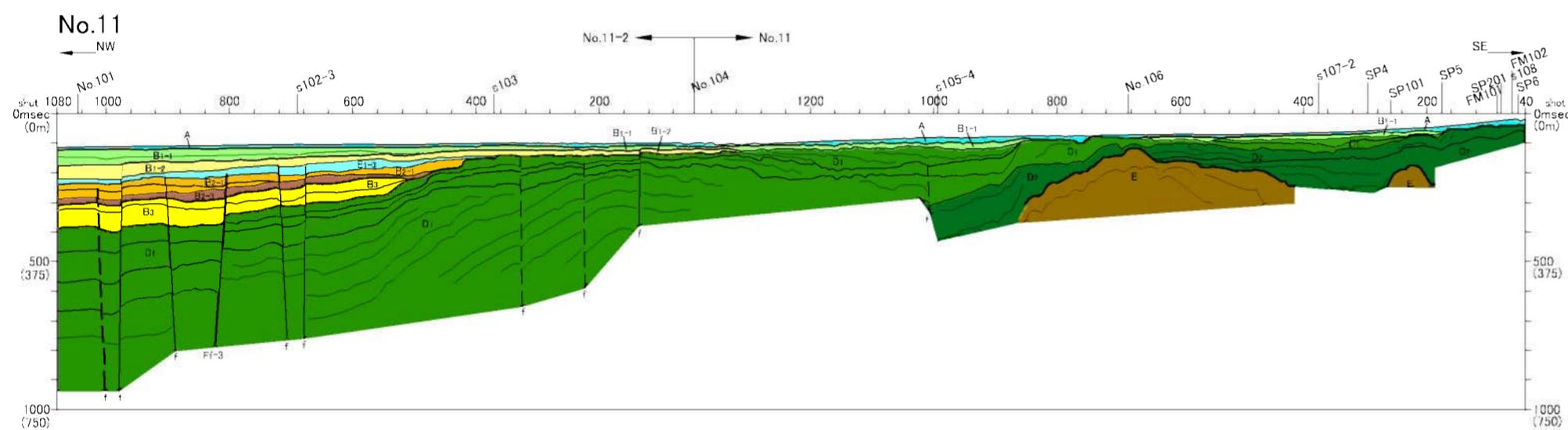
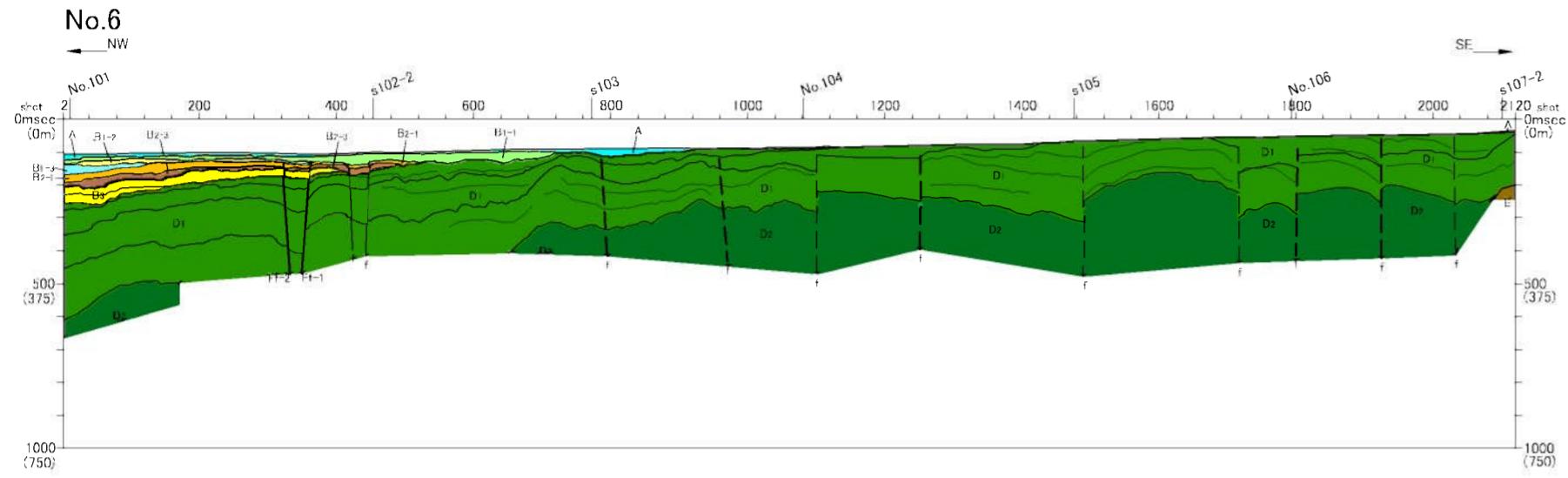


水涯線は、国土地理院発行の数値地図25000空間データ基盤(熊本・鹿児島)を編集したものである。
海域の地図は、国土地理院刊行の2万5千分の1沿岸海域地形図(水俣)他・海上保安庁刊行の5万分の1沿岸の海の基本図(牛深)他を編集したものである。

0 5km

第1.2-159図 八代海の海底地形図



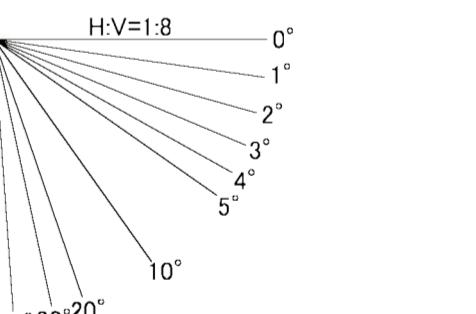


地質層序

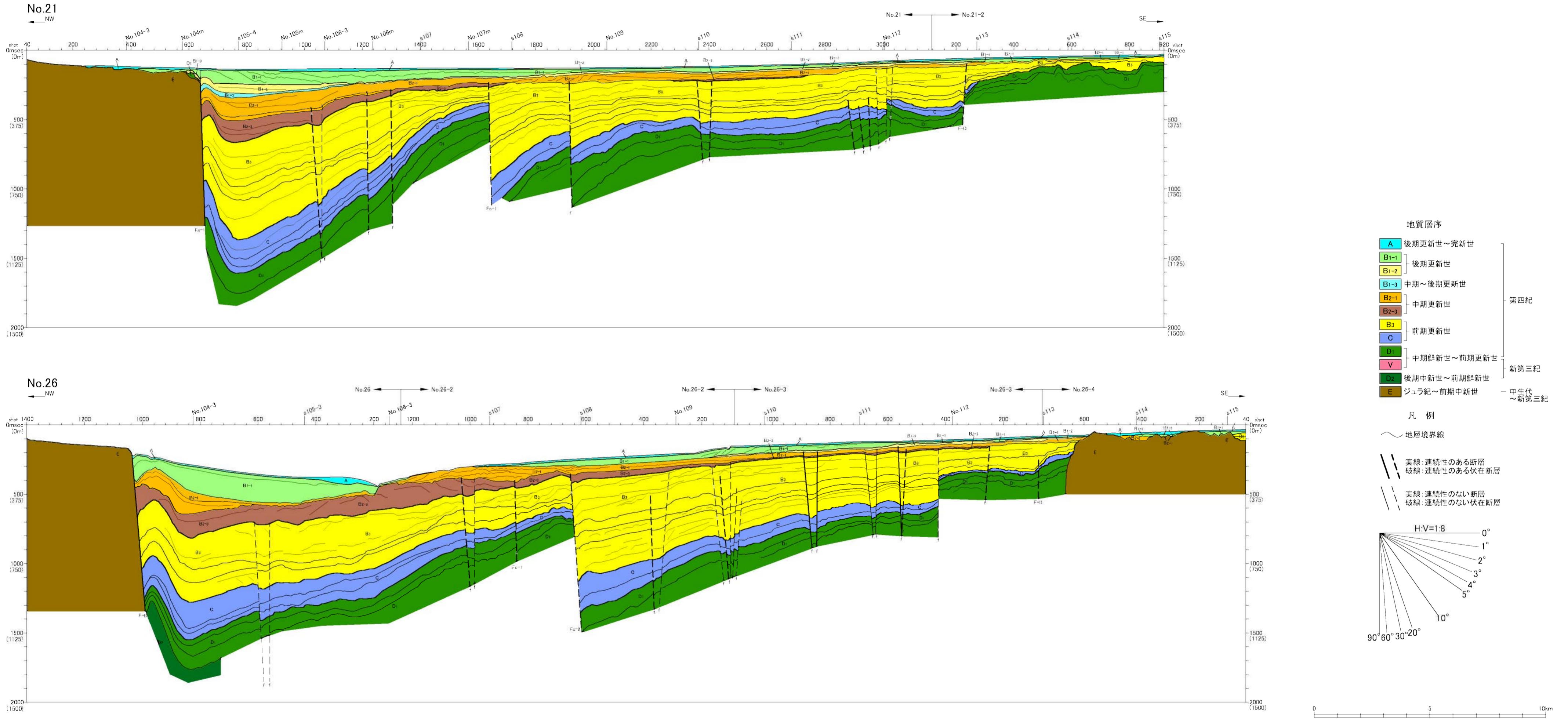
A	後期更新世～完新世
B1-1	後期更新世
B1-2	中期～後期更新世
B1-3	中期更新世
B2-1	前期更新世
B2-3	中期鮮新世～前期更新世
C	新第三紀
D1	後期中新世～前期鮮新世
V	中生代～新第三紀
D2	ジラ紀～前期中新世
E	第四紀

凡 例

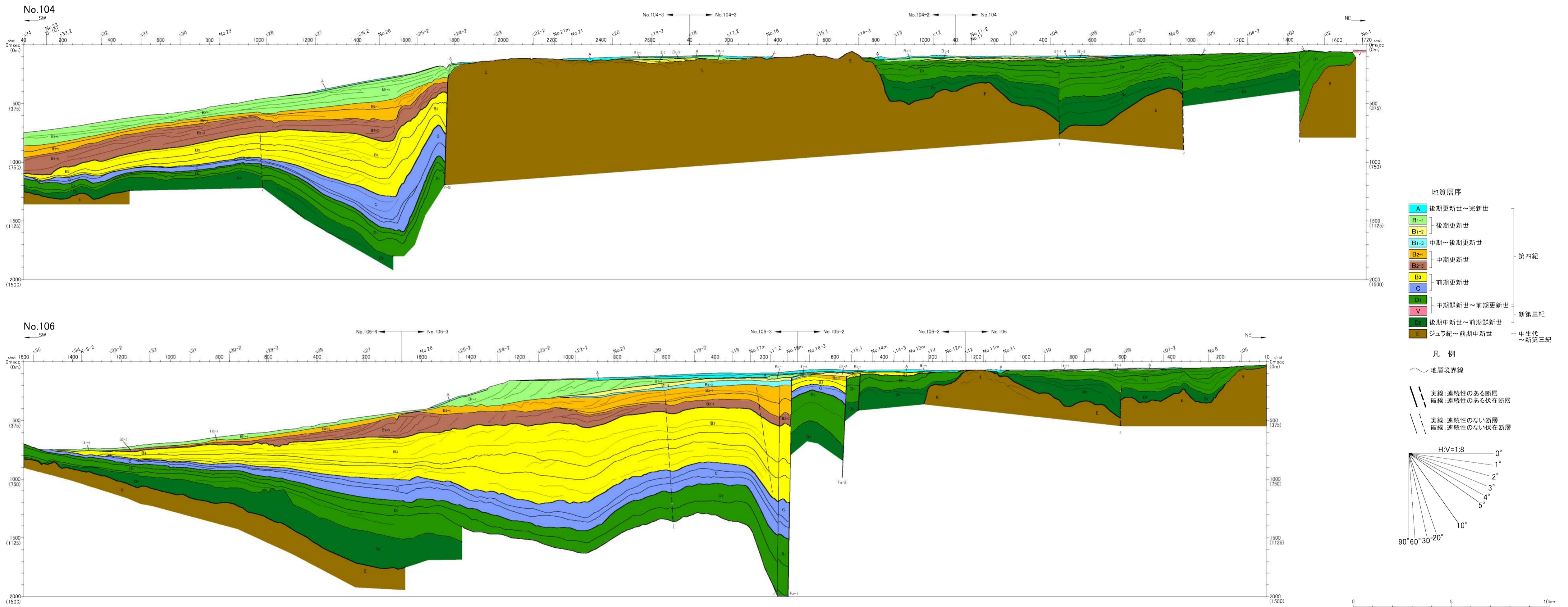
- 地層境界線
- 実線：連続性のある断層
破線：連続性のある伏在断層
- 実線：連続性のない断層
破線：連続性のない伏在断層



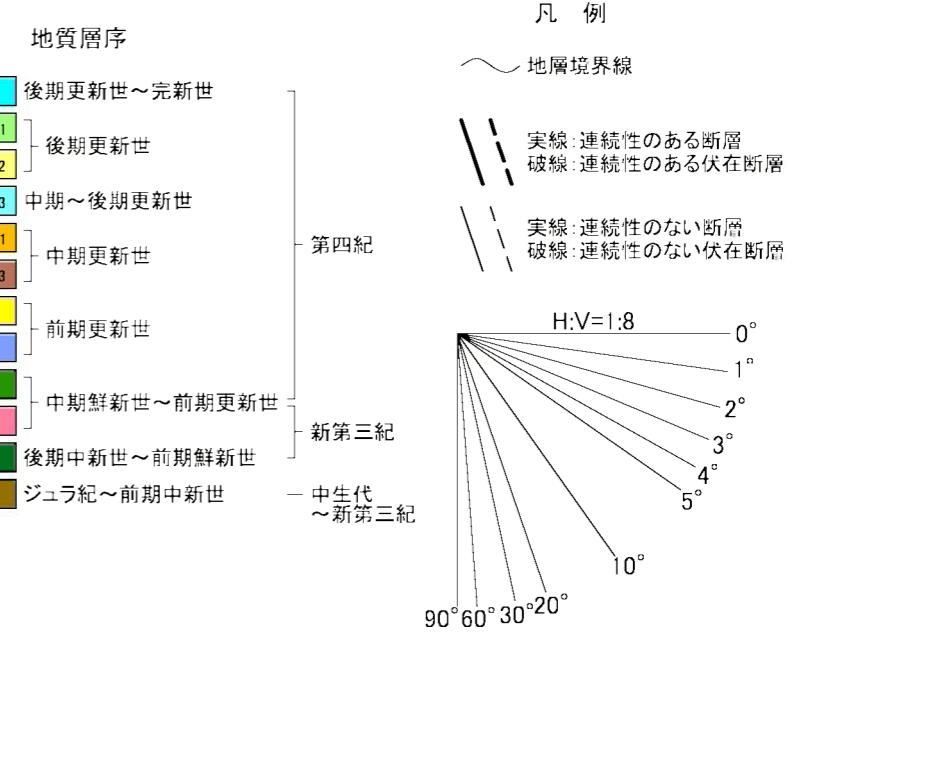
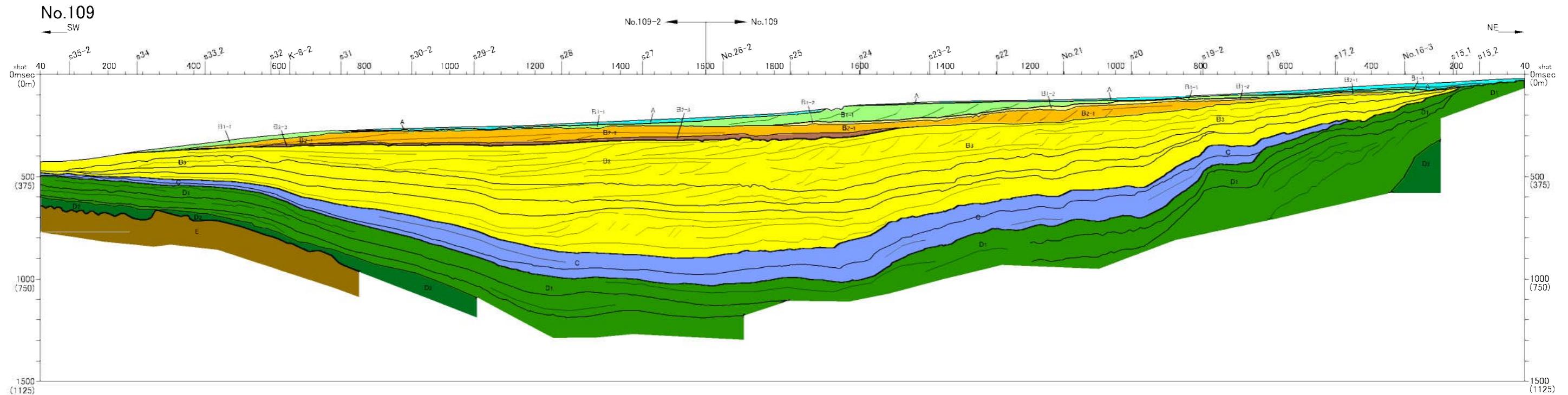
第1.2-161図(1) 敷地前面海域の海底地質断面図（その1）



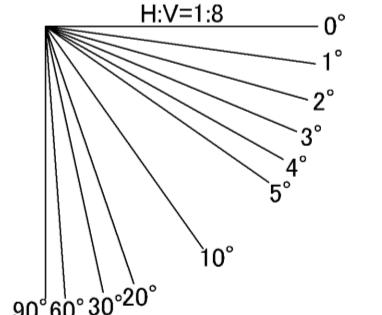
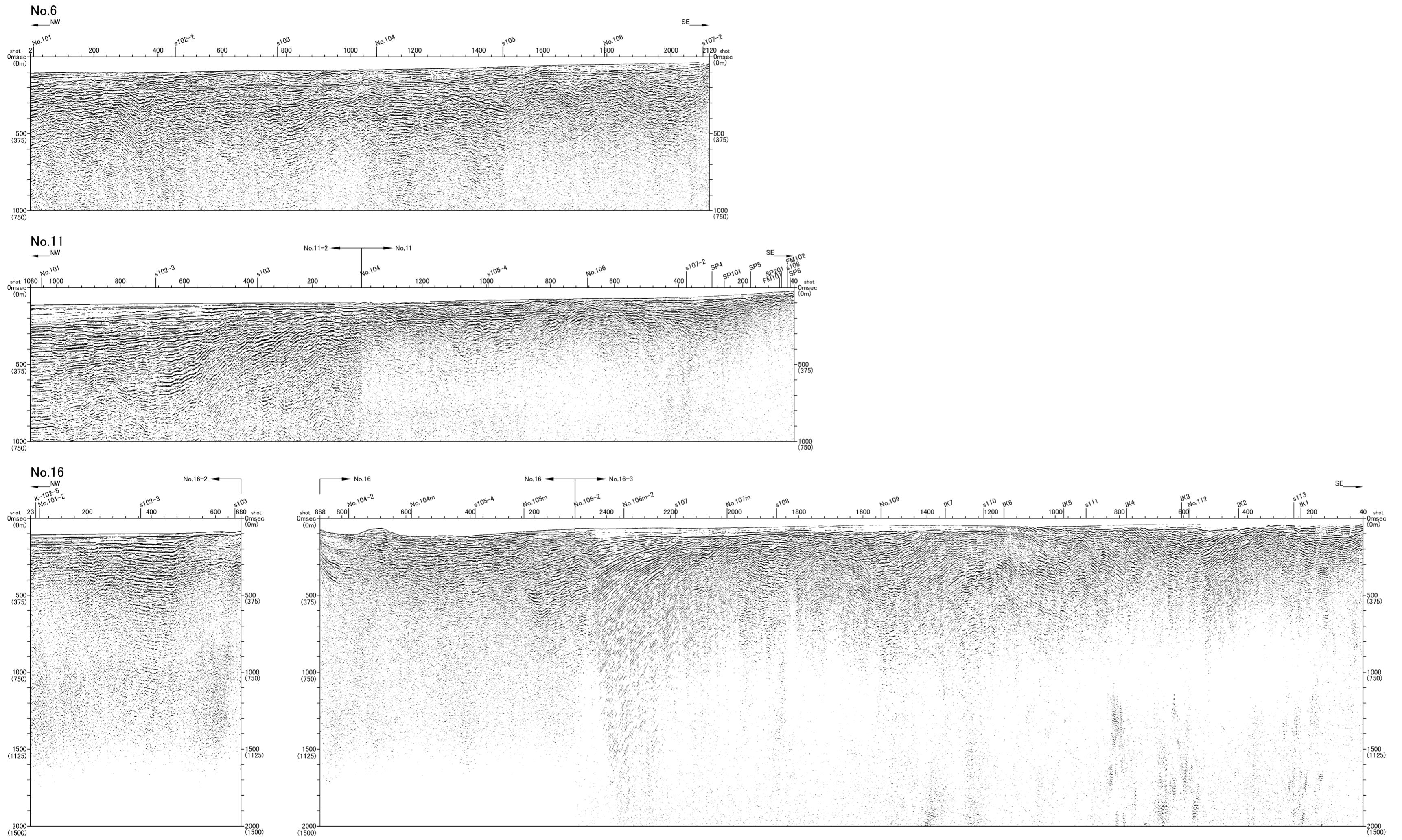
第1.2-161図(2) 救地前面海域の海底地質断面図（その2）



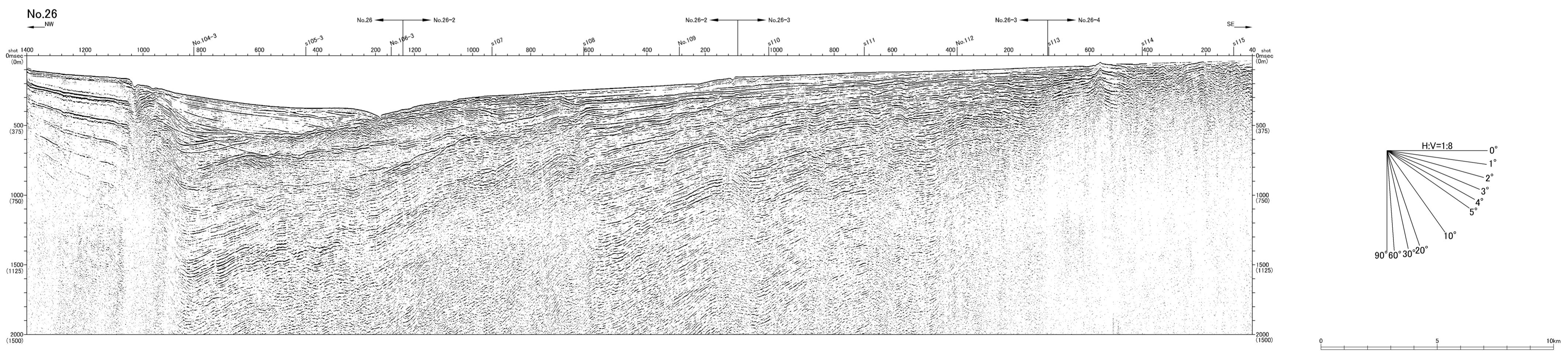
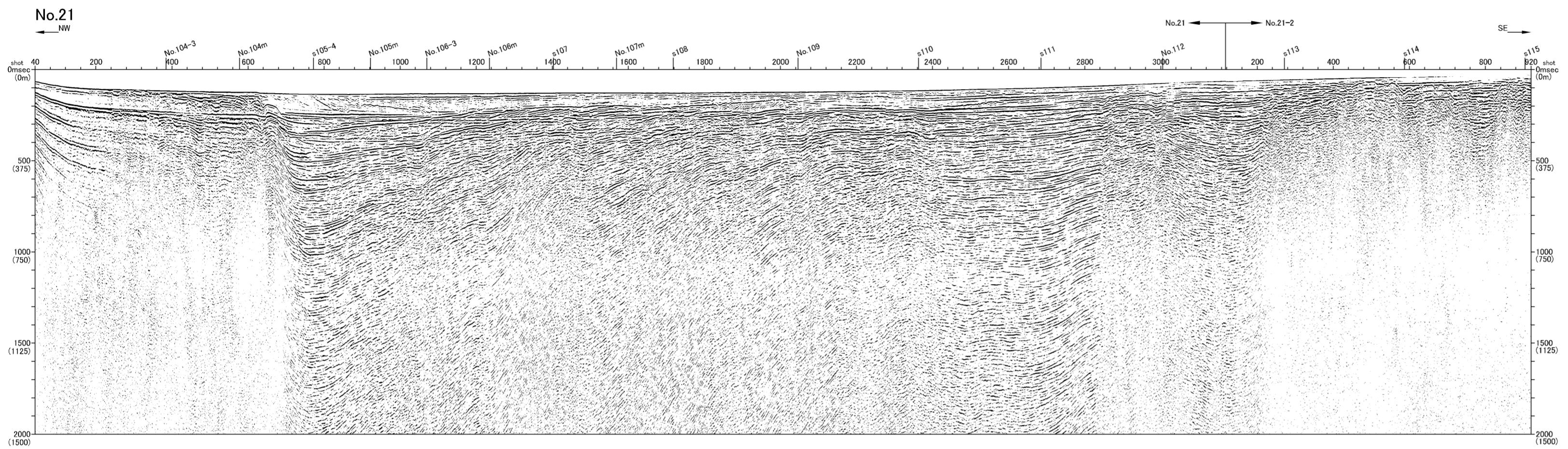
第1.2-161図(3) 敷地前面海域の海底地質断面図(その3)



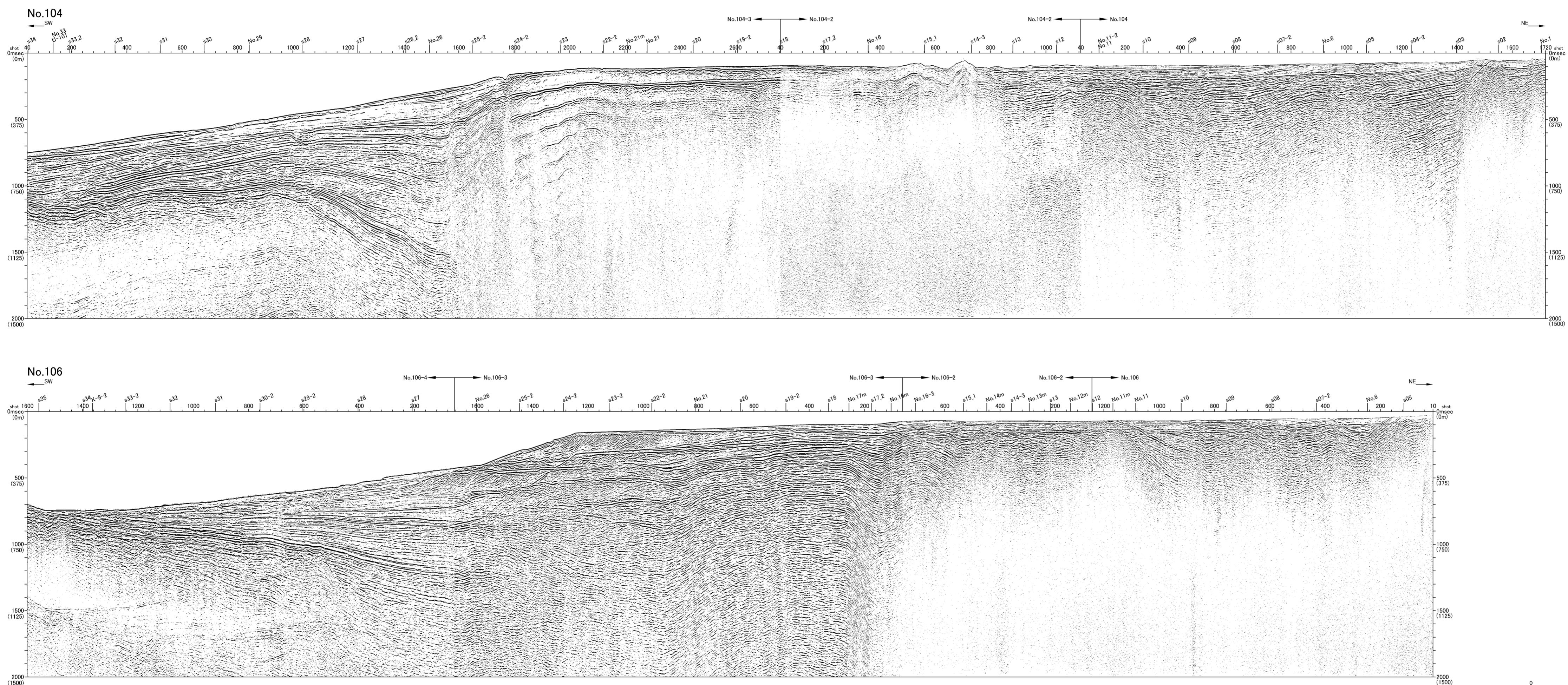
第1.2-161図(4) 敷地前面海域の海底地質断面図（その4）



第1.2-162図(1) 敷地前面海域の反射断面図 (その1)



第1.2-162図(2) 敷地前面海域の反射断面図 (その2)



第1.2-162図(3) 敷地前面海域の反射断面図 (その3)